

第3章 高齢者一般調査B

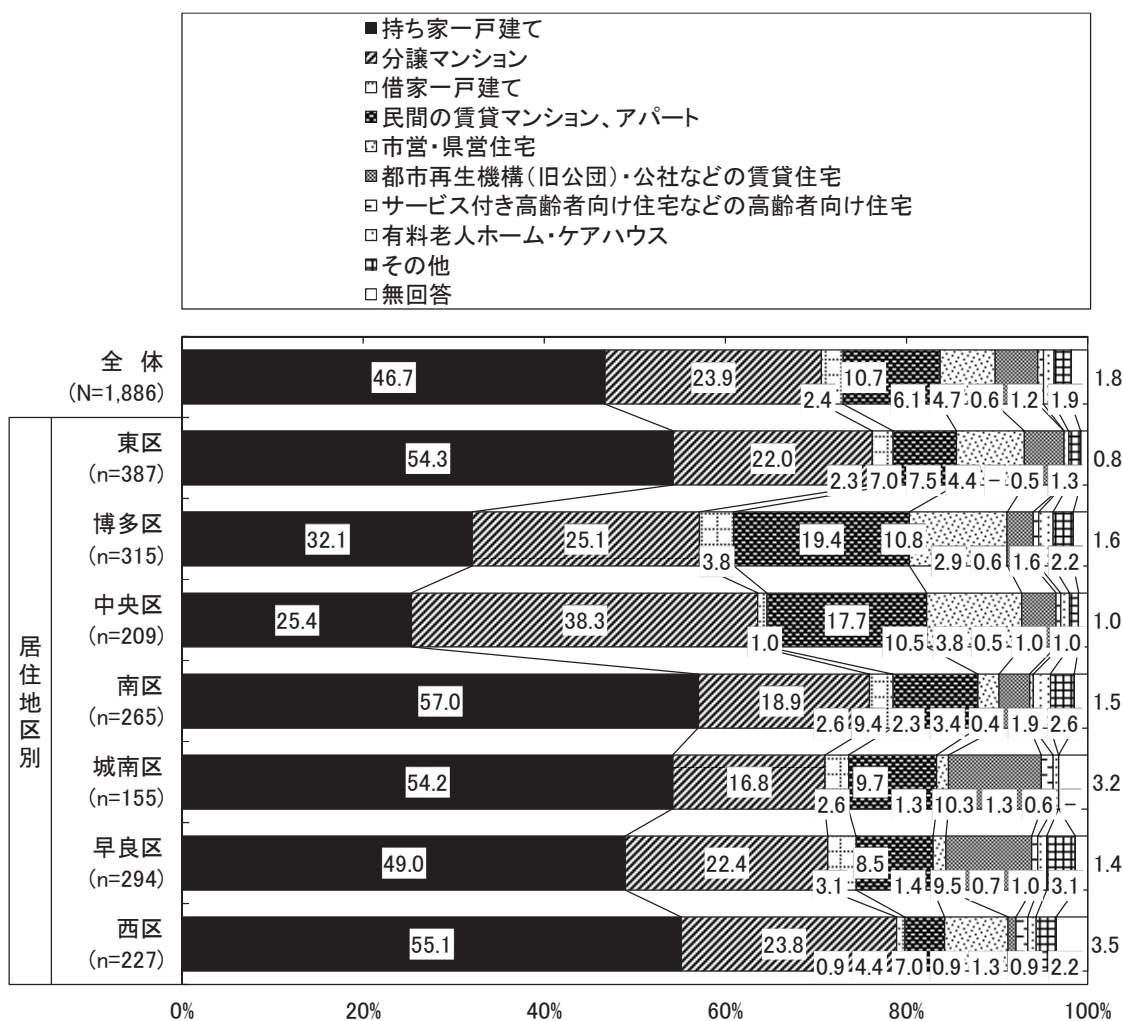
1. 現在のお住まい

(1) 居住の状況

① 住居形態

問8 あなたのお住まいは、次のどれですか。(〇は1つ)

【住居形態×居住地区別】



住居形態は、「持ち家一戸建て」が46.7%で最も高く、次いで「分譲マンション」が23.9%となっていて、これらを合わせた『持ち家』が70.6%となっている。

居住地区別にみると、東区、博多区、南区、城南区、早良区、西区では「持ち家一戸建て」の割合、中央区では「分譲マンション」の割合が最も高くなっている。

【住居形態×性別・年齢別・居住地区別・世帯構成別】

		回答数	持ち家一戸建て	分譲マンション	借家一戸建て	民間の賃貸マンション、アパート	市営・県営住宅	都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅	サービス付き高齢者向け住宅	有料老人ホーム・ケアハウ	その他	無回答
全体		1,886	881	450	45	202	115	89	11	23	36	34
		100.0	46.7	23.9	2.4	10.7	6.1	4.7	0.6	1.2	1.9	1.8
性別	男性	760	48.3	23.4	2.0	11.4	4.9	4.5	0.9	1.1	1.4	2.1
	女性	1,081	45.7	24.1	2.8	10.4	7.0	4.9	0.4	1.1	2.3	1.4
年齢別	60～64歳	403	34.0	33.7	2.5	16.9	5.0	3.0	0.2	-	1.5	3.2
	65～69歳	442	45.0	27.6	2.3	11.1	5.4	4.1	-	0.2	2.3	2.0
	70～74歳	362	52.5	21.5	2.8	8.8	6.9	5.2	0.3	0.3	1.1	0.6
	75～79歳	273	53.5	20.5	2.9	7.3	5.5	7.3	-	0.4	0.7	1.8
	80～84歳	214	55.6	15.9	2.8	11.2	6.5	4.2	0.5	1.4	1.4	0.5
	85～89歳	109	50.5	9.2	-	4.6	12.8	6.4	5.5	6.4	2.8	1.8
	90歳以上	48	43.8	8.3	-	4.2	-	8.3	4.2	16.7	14.6	-
居住地区別	東区	387	54.3	22.0	2.3	7.0	7.5	4.4	-	0.5	1.3	0.8
	博多区	315	32.1	25.1	3.8	19.4	10.8	2.9	0.6	1.6	2.2	1.6
	中央区	209	25.4	38.3	1.0	17.7	10.5	3.8	0.5	1.0	1.0	1.0
	南区	265	57.0	18.9	2.6	9.4	2.3	3.4	0.4	1.9	2.6	1.5
	城南区	155	54.2	16.8	2.6	9.7	1.3	10.3	1.3	0.6	-	3.2
	早良区	294	49.0	22.4	3.1	8.5	1.4	9.5	0.7	1.0	3.1	1.4
	西区	227	55.1	23.8	0.9	4.4	7.0	0.9	1.3	0.9	2.2	3.5
世帯構成別	単身世帯	394	28.2	18.0	2.8	19.8	10.4	9.6	1.5	3.3	3.6	2.8
	夫婦のみ世帯	792	50.5	28.2	1.8	7.3	5.1	4.3	0.6	0.5	0.9	0.9
	二世帯同居世帯	437	56.5	22.4	3.0	8.5	4.1	2.5	-	0.2	0.9	1.8
	三世帯同居世帯	65	69.2	12.3	1.5	6.2	3.1	3.1	-	-	1.5	3.1
	その他	153	40.5	24.8	3.9	13.1	6.5	2.0	-	2.0	5.2	2.0

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「分譲マンション」の割合が高くなっており、60～64歳では33.7%となっている。

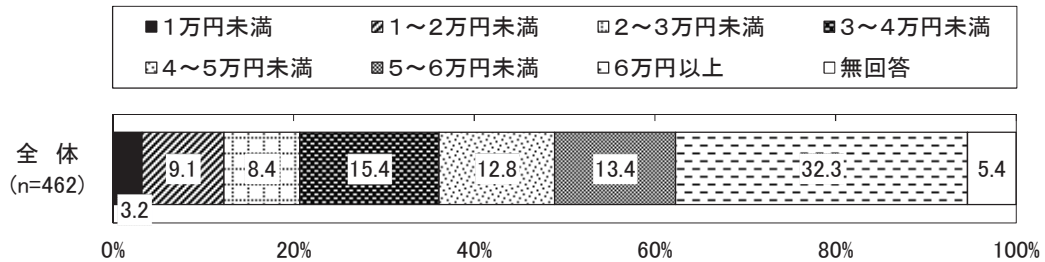
世帯構成別にみると、単身世帯では「民間の賃貸マンション・アパート」「市営・県営住宅」「都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅」の割合が他と比べて高い一方、「持ち家一戸建て」の割合が他と比べて低くなっている。

② 住まいの1か月の家賃

【問8で「3. ～7.」と答えた方にうかがいます】

問8-1 あなたの現在のお住まいの1か月の家賃（共益費なども含む）はいくらですか。
（〇は1つ）

【住まいの1か月の家賃】



住まいの1か月の家賃は、「6万円以上」が32.3%で最も高く、次いで「3～4万円未満」が15.4%、「5～6万円未満」が13.4%となっている。

【住まいの1か月の家賃×性別・年齢別・居住地区別・世帯構成別】

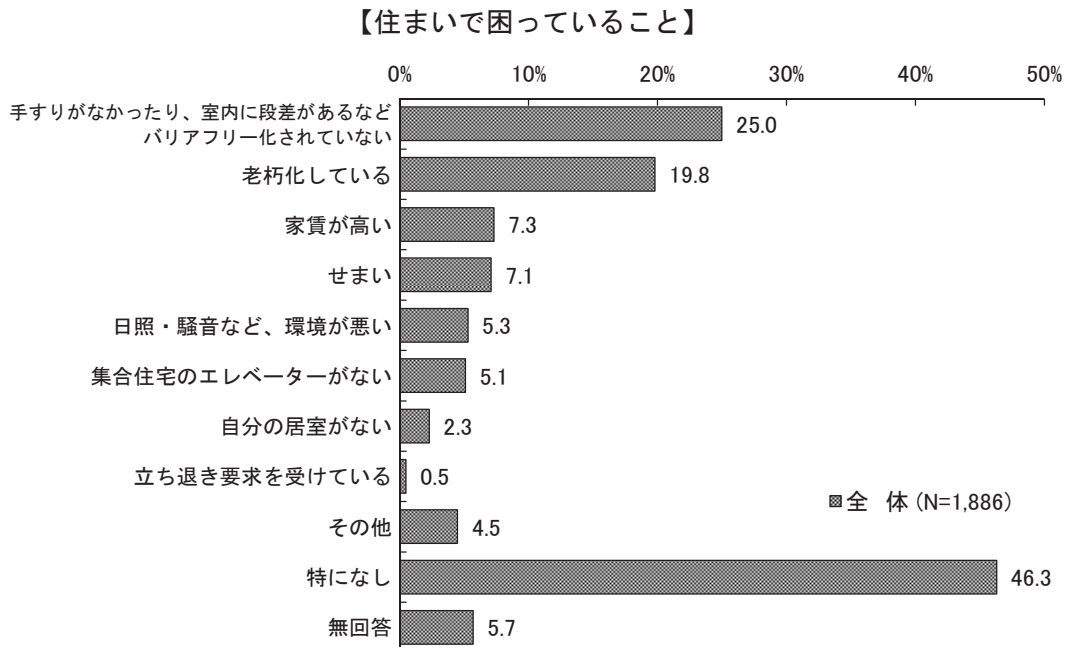
		回答数	1万円未満	1～2万円未満	2～3万円未満	3～4万円未満	4～5万円未満	5～6万円未満	6万円以上	無回答
全体		462	15	42	39	71	59	62	149	25
		100.0	3.2	9.1	8.4	15.4	12.8	13.4	32.3	5.4
性別	男性	180	2.2	7.2	7.8	17.8	12.2	15.6	32.8	4.4
	女性	275	4.0	10.5	9.1	13.5	13.5	12.4	31.3	5.8
年齢別	60～64歳	111	5.4	2.7	6.3	18.9	12.6	14.4	37.8	1.8
	65～69歳	101	2.0	7.9	10.9	16.8	15.8	14.9	29.7	2.0
	70～74歳	87	3.4	12.6	8.0	14.9	10.3	10.3	27.6	12.6
	75～79歳	63	-	12.7	9.5	9.5	15.9	20.6	27.0	4.8
	80～84歳	54	7.4	9.3	7.4	14.8	13.0	9.3	31.5	7.4
	85～89歳	32	-	18.8	12.5	9.4	9.4	6.3	34.4	9.4
	90歳以上	8	-	-	-	25.0	-	25.0	50.0	-
居住地区別	東区	82	2.4	12.2	13.4	13.4	7.3	8.5	39.0	3.7
	博多区	118	1.7	8.5	15.3	14.4	13.6	18.6	22.9	5.1
	中央区	70	1.4	15.7	2.9	8.6	8.6	11.4	45.7	5.7
	南区	48	-	2.1	8.3	14.6	25.0	12.5	27.1	10.4
	城南区	39	7.7	2.6	2.6	23.1	12.8	20.5	28.2	2.6
	早良区	68	4.4	2.9	2.9	23.5	16.2	13.2	29.4	7.4
	西区	33	12.1	21.2	3.0	12.1	9.1	6.1	33.3	3.0
世帯構成別	単身世帯	174	5.7	11.5	9.8	21.3	13.2	15.5	19.5	3.4
	夫婦のみ世帯	151	2.0	9.3	7.3	11.3	15.9	11.9	37.7	4.6
	二世帯同居世帯	79	1.3	6.3	7.6	10.1	10.1	12.7	44.3	7.6
	三世帯同居世帯	9	-	-	-	11.1	11.1	11.1	66.7	-
	その他	39	2.6	5.1	10.3	15.4	7.7	12.8	33.3	12.8

世帯構成別にみると、夫婦のみ世帯、二世帯同居世帯、三世帯同居世帯では、「6万円以上」の割合が最も高いのに対し、単身世帯では「3～4万円未満」の割合が最も高くなっている。

(2) 住まいの利便性

① 住まいで困っていること

問9 あなたは、現在のお住まいで困っていることがありますか。(〇はいくつでも)



現在の住まいで困っていることは、「特になし」が 46.3%で最も高くなっていて、半数近くは今のところ住居に不便を感じていない。困っていることは、「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」が 25.0%で最も高く、次いで「老朽化している」が 19.8%となっている。

【住まいで困っていること×性別・年齢別・健康状態別】

		回答数	手すりがない、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない	老朽化している	家賃が高い	せまい	日照・騒音など、環境が悪い	集合住宅のエレベーターがない	自分の居室がない	立ち退き要求を受けている	その他	特になし	無回答
全体		1,886	471	373	138	133	100	97	44	9	84	874	107
		100.0	25.0	19.8	7.3	7.1	5.3	5.1	2.3	0.5	4.5	46.3	5.7
性別	男性	760	24.5	19.9	7.5	8.7	4.9	4.6	3.0	0.5	4.1	45.8	4.6
	女性	1,081	25.2	19.7	7.2	6.1	5.6	5.6	1.9	0.5	4.8	46.6	6.2
年齢別	60～64歳	403	16.9	18.9	8.9	9.9	6.7	5.7	4.2	-	5.2	49.6	4.2
	65～69歳	442	19.2	17.2	7.7	8.1	5.0	5.2	2.0	0.7	4.3	51.8	4.3
	70～74歳	362	26.0	21.3	5.5	4.4	6.6	4.4	1.1	0.6	3.3	47.0	5.5
	75～79歳	273	33.7	23.4	8.1	6.6	3.3	8.4	1.8	0.7	4.0	38.1	6.6
	80～84歳	214	40.2	23.4	6.5	8.4	6.1	2.8	2.3	0.5	5.6	38.8	6.1
	85～89歳	109	23.9	15.6	6.4	0.9	1.8	5.5	2.8	-	4.6	42.2	12.8
	90歳以上	48	20.8	16.7	6.3	6.3	2.1	-	2.1	2.1	6.3	45.8	8.3
健康状態別	健康である	954	18.4	15.1	6.0	5.8	4.5	4.4	1.9	0.3	3.5	55.3	5.1
	外出はひとりできる	743	31.2	25.8	9.3	8.6	6.3	6.3	2.8	0.7	4.4	36.5	6.2
	外出はひとりできない	106	32.1	17.0	6.6	6.6	6.6	3.8	3.8	0.9	8.5	40.6	4.7
	ベッドでの生活が主体	33	39.4	27.3	6.1	9.1	3.0	3.0	-	-	9.1	42.4	3.0
	1日中ベッドの上	23	39.1	17.4	8.7	4.3	4.3	4.3	4.3	-	17.4	39.1	4.3

【住まいで困っていること×住居形態別】

(%)

	回答数	手すりに段差があるなどバリアフリー化されていない	老朽化している	家賃が高い	せまい	日照・騒音など、環境が悪い	集合住宅のエレベーターがない	自分の居室がない	
全体	1,886 100.0	471 25.0	373 19.8	138 7.3	133 7.1	100 5.3	97 5.1	44 2.3	
住居形態別	持ち家一戸建て	881	25.0	24.4	-	3.1	4.5	-	0.8
	分譲マンション	450	18.0	10.2	1.1	6.9	3.3	7.1	2.2
	借家一戸建て	45	42.2	42.2	24.4	8.9	15.6	-	2.2
	民間の賃貸マンション、アパート	202	30.2	17.8	32.2	18.3	10.4	8.4	7.4
	市営・県営住宅	115	37.4	18.3	14.8	13.0	9.6	15.7	4.3
	都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅	89	38.2	33.7	38.2	12.4	4.5	32.6	6.7
	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	11	18.2	-	27.3	27.3	-	-	-
	有料老人ホーム・ケアハウス	23	17.4	4.3	13.0	13.0	4.3	4.3	-
	その他	36	16.7	13.9	-	5.6	2.8	-	-

	立ち退き要求を受けている	その他	特になし	無回答	
全体	9 0.5	84 4.5	874 46.3	107 5.7	
住居形態別	持ち家一戸建て	0.2	4.4	49.8	5.3
	分譲マンション	-	2.7	60.0	3.3
	借家一戸建て	4.4	4.4	26.7	2.2
	民間の賃貸マンション、アパート	1.0	4.0	30.2	2.5
	市営・県営住宅	1.7	8.7	26.1	3.5
	都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅	1.1	10.1	22.5	1.1
	サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け住宅	-	-	54.5	-
	有料老人ホーム・ケアハウス	-	4.3	56.5	4.3
	その他	-	5.6	58.3	8.3

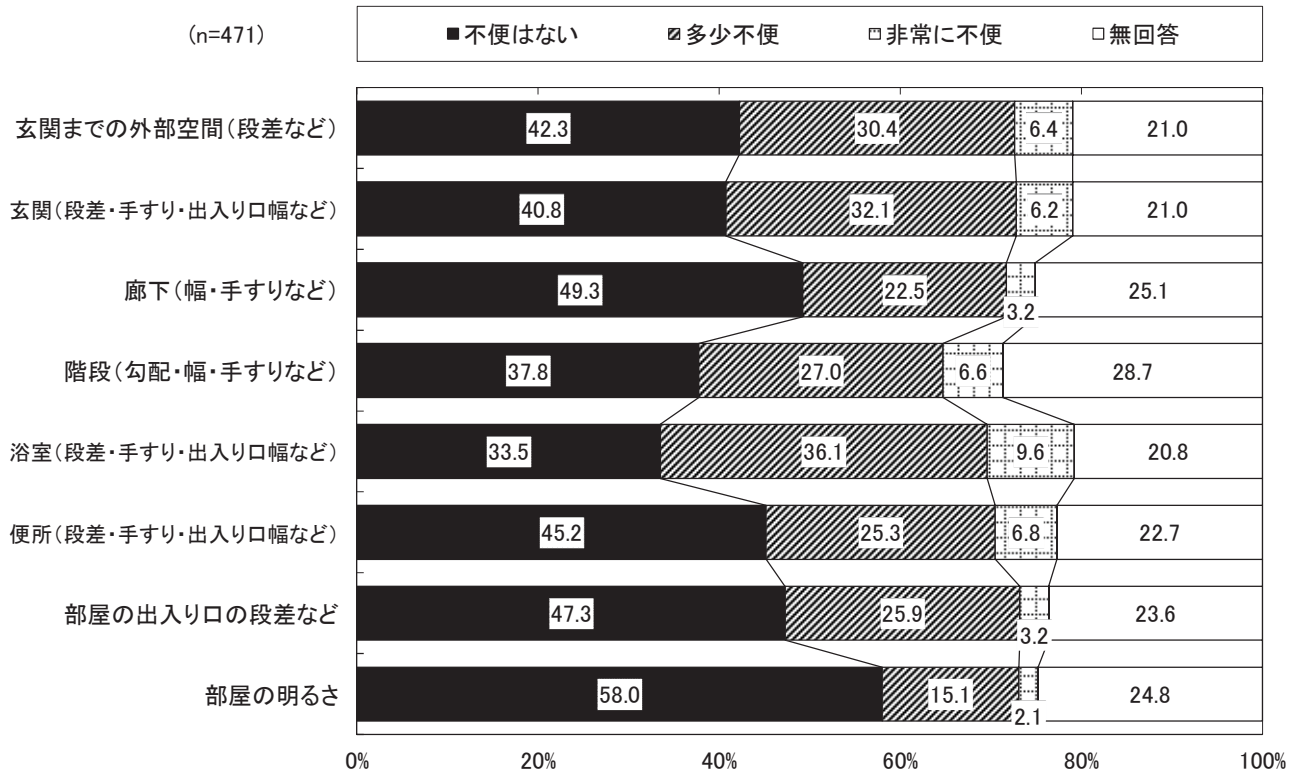
住居形態別にみると、借家一戸建て、市営・県営住宅、都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅では「手すりがなかったり、室内に段差があるなどバリアフリー化されていない」の割合、借家一戸建てでは「老朽化している」の割合が他と比べて高くなっている。

② 住まいの利便性について

【問9で「3.」と答えた方にうかがいます】

問9-1 あなたは、現在お住まいの住宅について、次の①～⑧のそれぞれの項目をどのように感じていますか。(項目ごとに〇は1つ)

【住まいの利便性について】



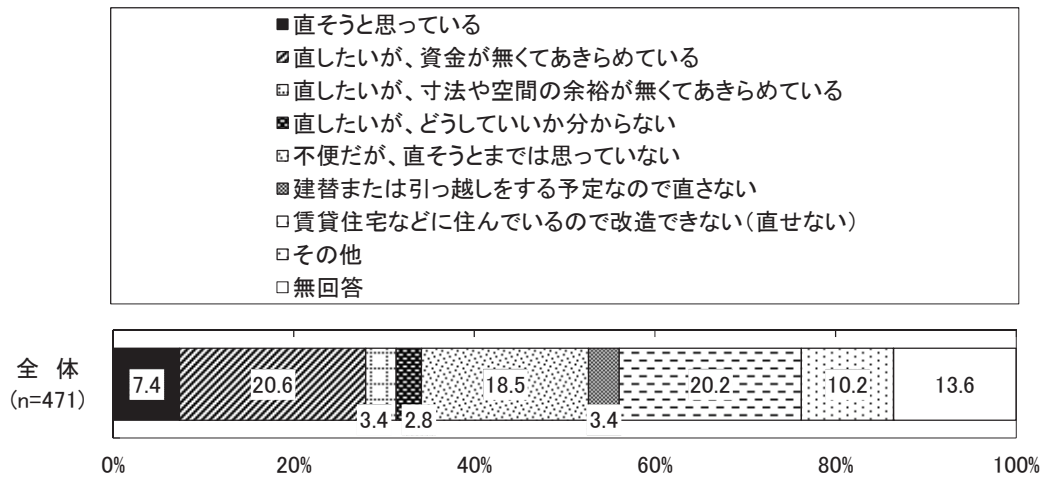
住まいの利便性について項目別に質問した結果、浴室（段差・手すり・出入り口幅など）のみ、『不便』（「多少不便」と「非常に不便」の合計）の割合が「不便はない」の割合を上回っている。

③ 住まいのバリアフリー化への意向

【問9で「3.」と答えた方にうかがいます】

問9-2 あなたは、現在お住まいの住宅で不便があると思っているところについて、どうお考えですか。(〇は1つ)

【住まいのバリアフリー化への意向】



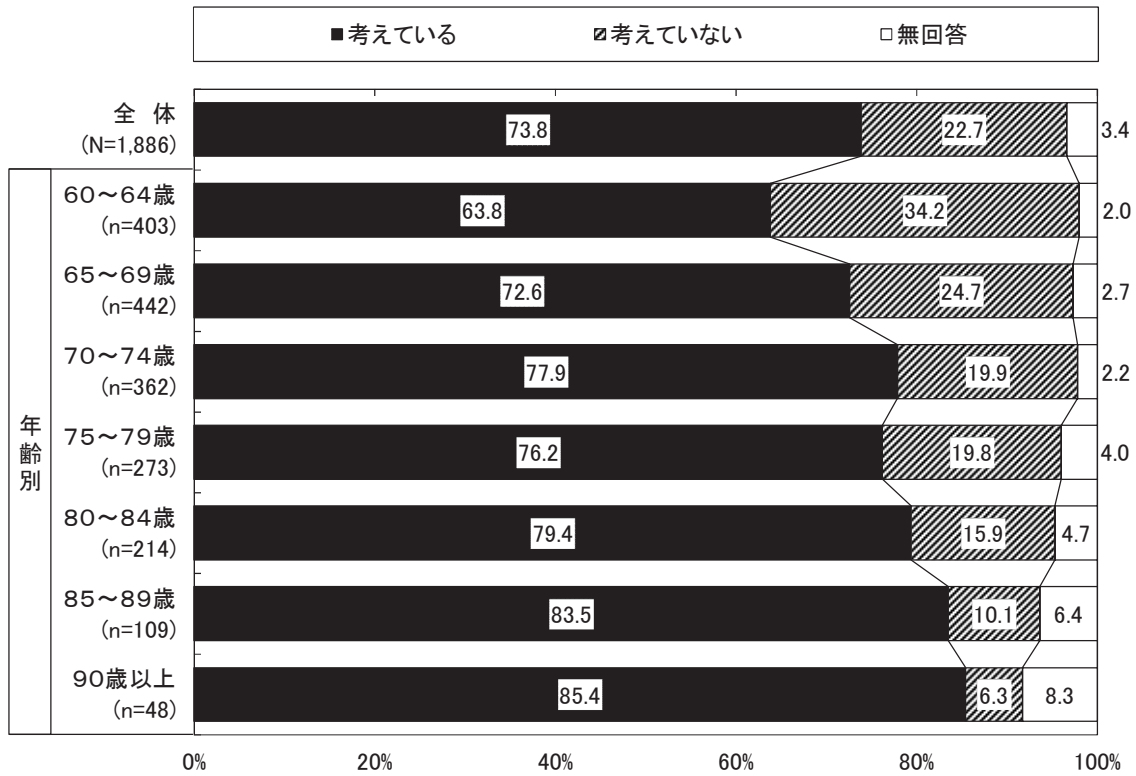
住まいのバリアフリー化への意向は、「直したいが、資金が無くてあきらめている」が20.6%で最も高く、次いで「賃貸住宅などに住んでいるので改造できない(直せない)」が20.2%、「不便だが、直そうとまでは思っていない」が18.5%となっている。

(3) 住み替え

① 現在の住まいを終の棲家と考えているか

問 10 あなたは、現在のお住まいを終の棲家と考えていますか。(〇は1つ)

【現在の住まいを終の棲家と考えているか×年齢別】



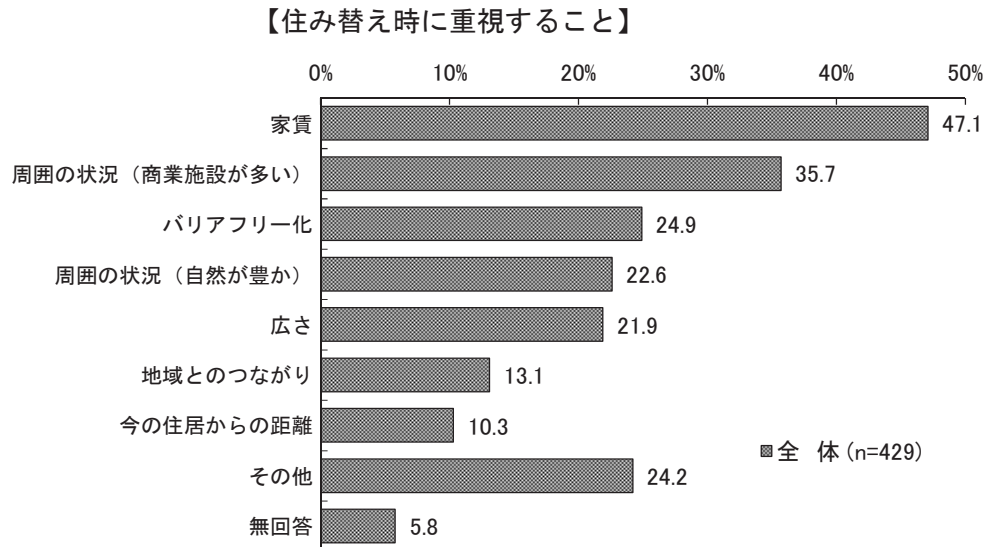
現在の住まいを終の棲家と考えているかは、「考えている」が 73.8%、「考えていない」が 22.7%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「考えている」の割合が高くなっており、90歳以上では 85.4%となっている。

② 住み替え時に重視すること

【問10で「2.」と答えた方にうかがいます】

問10-1 あなたは、住み替え時にはどんな事を重視して住まいを選びますか。
(〇はいくつでも)

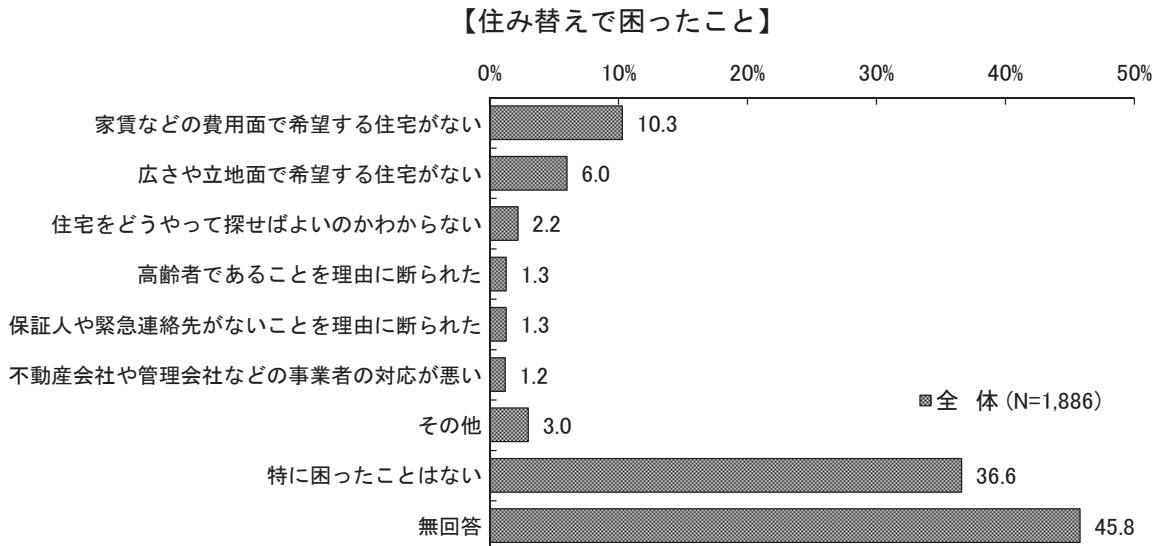


現在の住まいを終の棲家と考えていない人が住み替え時に重視することは、「家賃」が47.1%で最も高く、次いで「周囲の状況 (商業施設が多い)」が35.7%、「バリアフリー化」が24.9%となっている。

(4) 住み替えで困ったこと

【これまでに住宅を住み替えたことがある方、または現在住み替えを考えている方にうかがいます。】

問 11 あなたは、住み替えにあたってどのようなことに困りましたか、または困っていますか。
(〇はいくつでも)



住み替えで困ったことは、「特に困ったことはない」が 36.6%で最も高く、次いで「家賃などの費用面で希望する住宅がない」が 10.3%、「広さや立地面で希望する住宅がない」が 6.0%となっている。

【住み替えで困ったこと×世帯構成別・住居形態別】

(%)

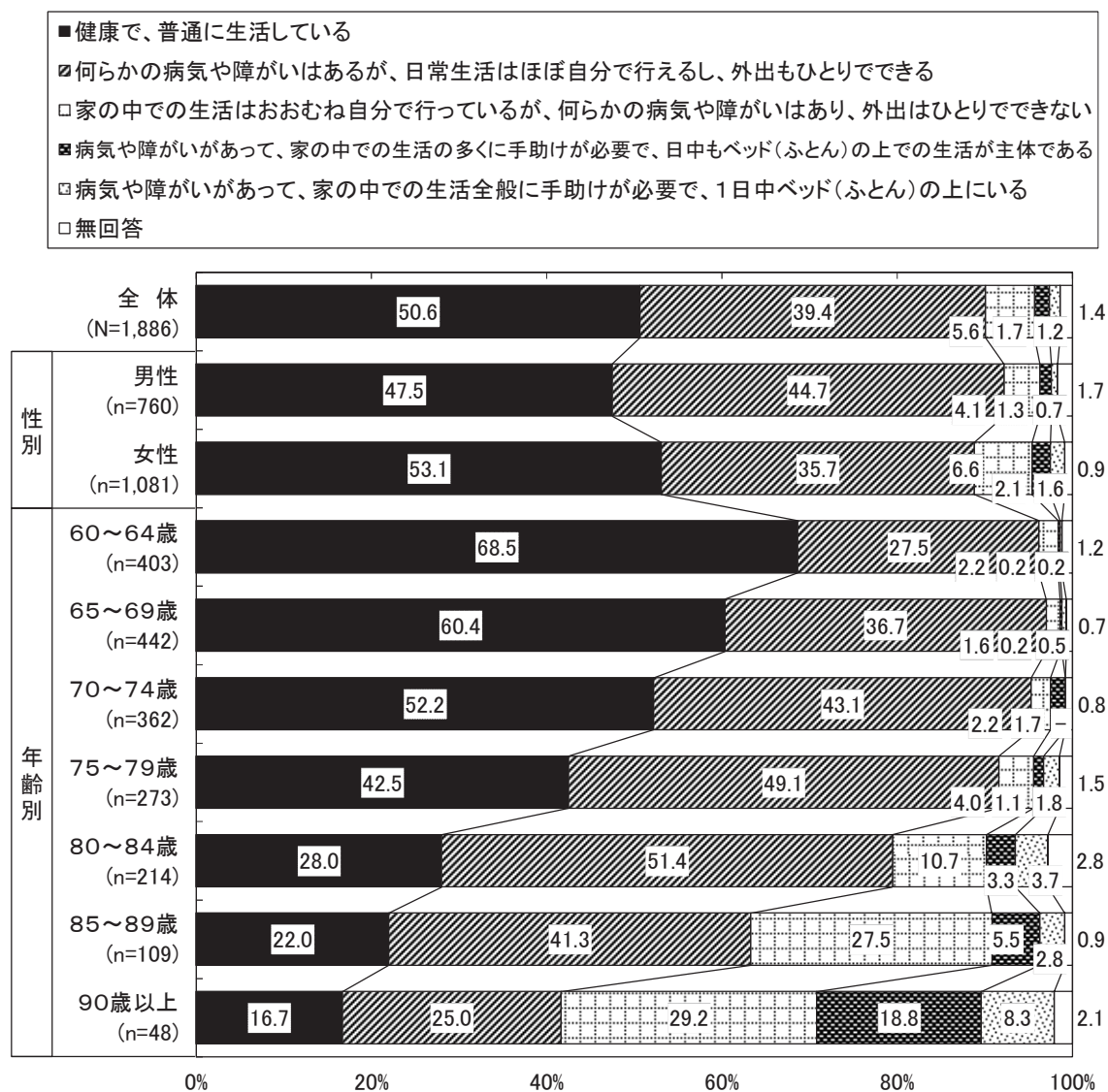
		回答数	家賃などの費用面で希望する住宅がない	広さや立地面で希望する住宅がない	よいのかどうか探せば	高齢者であることを理由に断られた	保証人や緊急連絡先がないことを理由に断られた	不動産会社や管理会社などの事業者の対応が悪い	その他	特に困ったことはない	無回答
全体		1,886	194	113	41	25	25	22	56	690	864
		100.0	10.3	6.0	2.2	1.3	1.3	1.2	3.0	36.6	45.8
世帯構成別	単身世帯	394	14.0	4.8	2.0	4.3	2.8	1.5	3.3	32.5	44.4
	夫婦のみ世帯	792	7.8	4.9	1.6	0.6	0.6	1.0	2.7	40.2	45.5
	二世帯同居世帯	437	12.4	8.9	3.4	0.7	0.9	1.1	2.5	34.3	46.2
	三世帯同居世帯	65	6.2	4.6	3.1	-	1.5	1.5	4.6	30.8	55.4
	その他	153	11.1	6.5	1.3	-	2.6	0.7	5.2	35.9	45.8
住居形態別	持ち家一戸建て	881	2.8	3.1	1.2	0.3	0.1	0.2	1.4	31.6	61.5
	分譲マンション	450	5.3	6.0	2.0	-	0.2	1.6	3.3	50.9	36.4
	借家一戸建て	45	33.3	24.4	8.9	2.2	4.4	4.4	4.4	28.9	22.2
	民間の賃貸マンション、アパート	202	40.6	13.9	5.4	7.9	7.4	3.5	5.9	29.2	14.9
	市営・県営住宅	115	14.8	6.1	0.9	0.9	0.9	0.9	4.3	33.0	44.3
	都市再生機構（旧公団）・公社などの賃貸住宅	89	20.2	11.2	3.4	3.4	3.4	2.2	5.6	30.3	34.8
	サービス付き高齢者向け住宅など的高齢者向け住宅	11	27.3	9.1	-	-	-	-	9.1	36.4	27.3
	有料老人ホーム・ケアハウス	23	13.0	4.3	-	4.3	4.3	-	4.3	65.2	17.4
その他	36	11.1	-	5.6	-	2.8	2.8	2.8	41.7	33.3	

2. 健康

(1) 健康状態

問 12 あなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

【健康状態×性別・年齢別】



健康状態は、「健康で、普通に生活している」が50.6%、「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりで行える」が39.4%を合わせた9割の人が自立した生活を送っている。

性別にみると、男性の方が女性より「何らかの病気や障がいはあるが、日常生活はほぼ自分で行えるし、外出もひとりで行える」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど自立した生活をしている人の割合が減少している。

【健康状態×性別・年齢別・世帯構成別・経年比較】

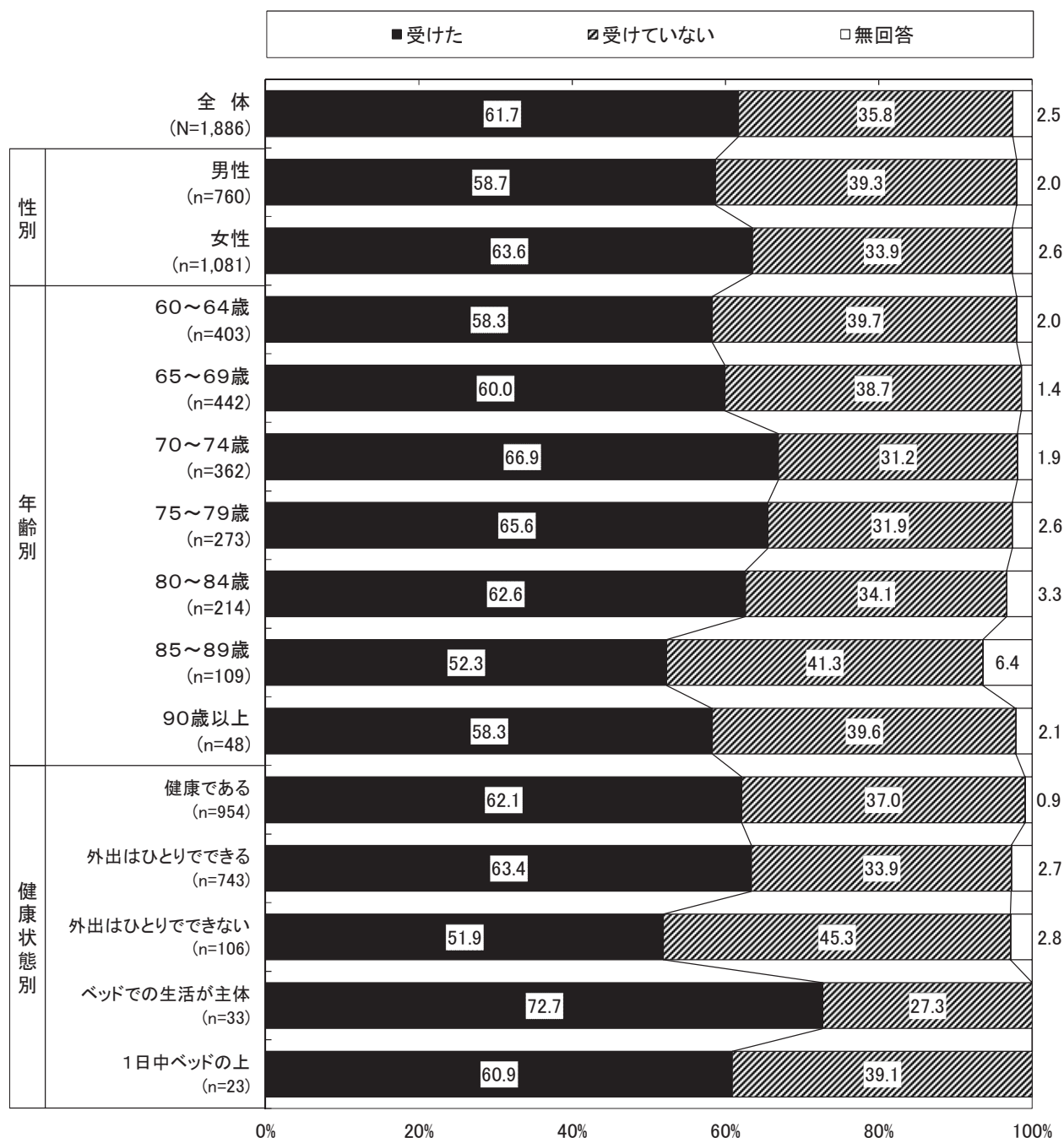
		(%)														
		回答数	健康で、普通に生活している	るが、日常生活はひとりでできる	が、日常の生活はひとりでできる	何らかの病や障害がある	やが、日常生活はひとりでできる	で、日常生活はひとりでできる	家で、日常生活はひとりでできる	上、日常生活はひとりでできる	で、日常生活はひとりでできる	病、日常生活はひとりでできる	上で、日常生活はひとりでできる	で、日常生活はひとりでできる	病、日常生活はひとりでできる	無回答
全体		1,886	954	743	106	33	23	27								
		100.0	50.6	39.4	5.6	1.7	1.2	1.4								
性別	男性	760	47.5	44.7	4.1	1.3	0.7	1.7								
	女性	1,081	53.1	35.7	6.6	2.1	1.6	0.9								
年齢別	60～64歳	403	68.5	27.5	2.2	0.2	0.2	1.2								
	65～69歳	442	60.4	36.7	1.6	0.2	0.5	0.7								
	70～74歳	362	52.2	43.1	2.2	1.7	-	0.8								
	75～79歳	273	42.5	49.1	4.0	1.1	1.8	1.5								
	80～84歳	214	28.0	51.4	10.7	3.3	3.7	2.8								
	85～89歳	109	22.0	41.3	27.5	5.5	2.8	0.9								
	90歳以上	48	16.7	25.0	29.2	18.8	8.3	2.1								
世帯構成別	単身世帯	394	44.4	42.4	8.9	2.3	1.3	0.8								
	夫婦のみ世帯	792	53.4	40.0	3.9	1.0	0.5	1.1								
	二世帯同居世帯	437	51.9	38.2	4.8	1.6	2.1	1.4								
	三世帯同居世帯	65	41.5	35.4	9.2	7.7	3.1	3.1								
	その他	153	53.6	36.6	5.9	2.0	1.3	0.7								
経年	平成25年度	2,985	46.5	45.2	5.6	1.2	0.5	1.0								
	平成22年度	2,939	44.0	45.9	6.0	2.1	0.8	1.2								
	平成19年度	3,161	41.3	46.8	7.5	1.7	1.1	1.7								
	平成16年度	2,722	45.4	41.7	8.5	1.6	1.9	0.9								
	平成13年度	2,881	47.4	41.5	7.1	1.9	1.3	0.8								

過去の調査結果と比較すると、「健康で、普通に生活している」は平成13年度以降で最も高くなっている。

(2) 歯科の定期健診の有無

問13 あなたは、この1年間の間に、歯科の定期健診を受けましたか。(〇は1つ)

【歯科の定期健診の有無×性別・年齢別・健康状態別】

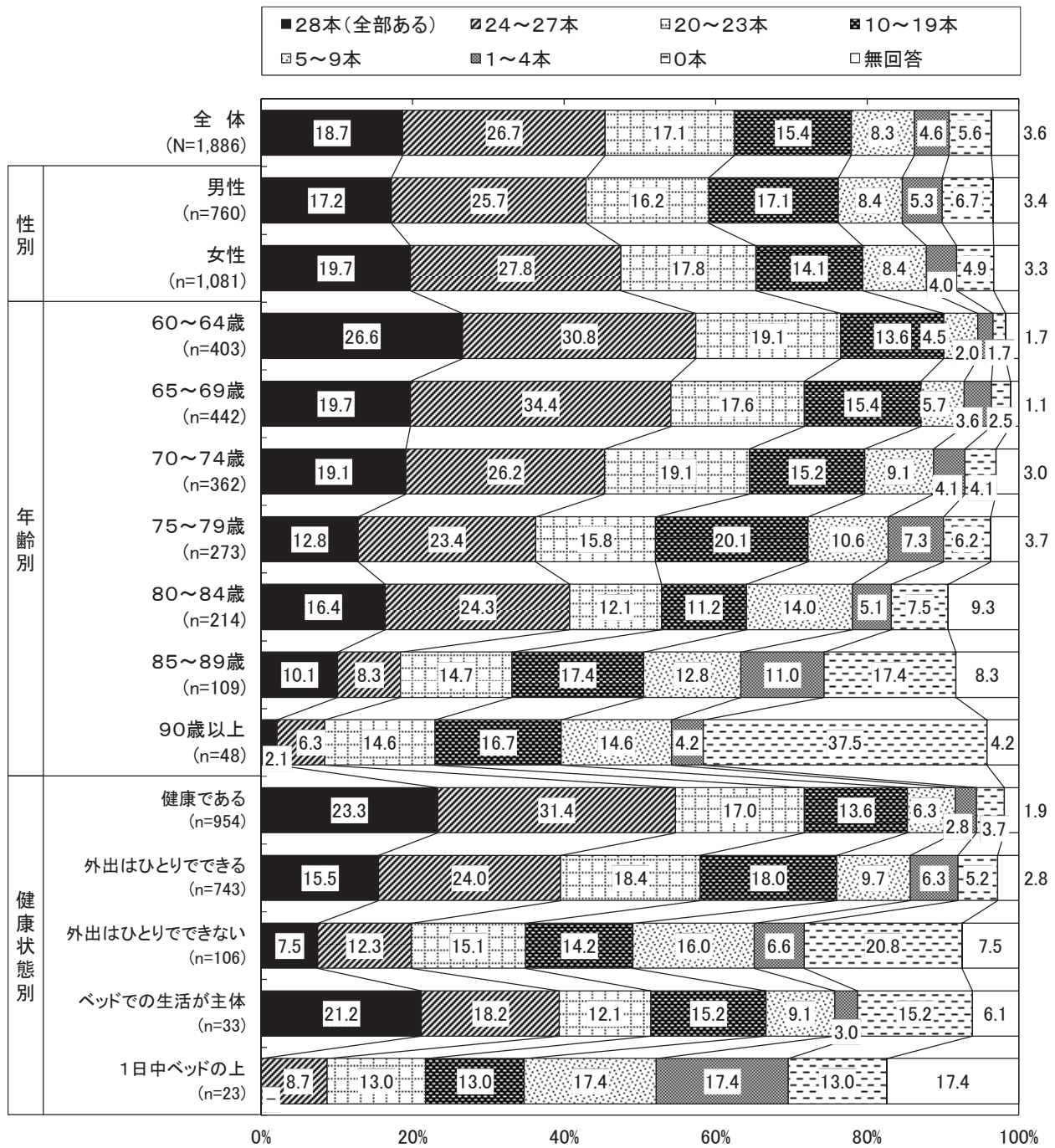


歯科の定期健診の有無は、「受けた」が61.7%、「受けていない」が35.8%となっている。

(3) 歯の本数

問 14 あなた自身の歯は何本ありますか。親知らず歯は含みません。さし歯はあなた自身の歯として数えます。(〇は1つ)

【歯の本数×性別・年齢別・健康状態別】



歯の本数は、「24~27本」が26.7%で最も高く、次いで「28本(全部ある)」が18.7%、「20~23本」が17.1%となっている。

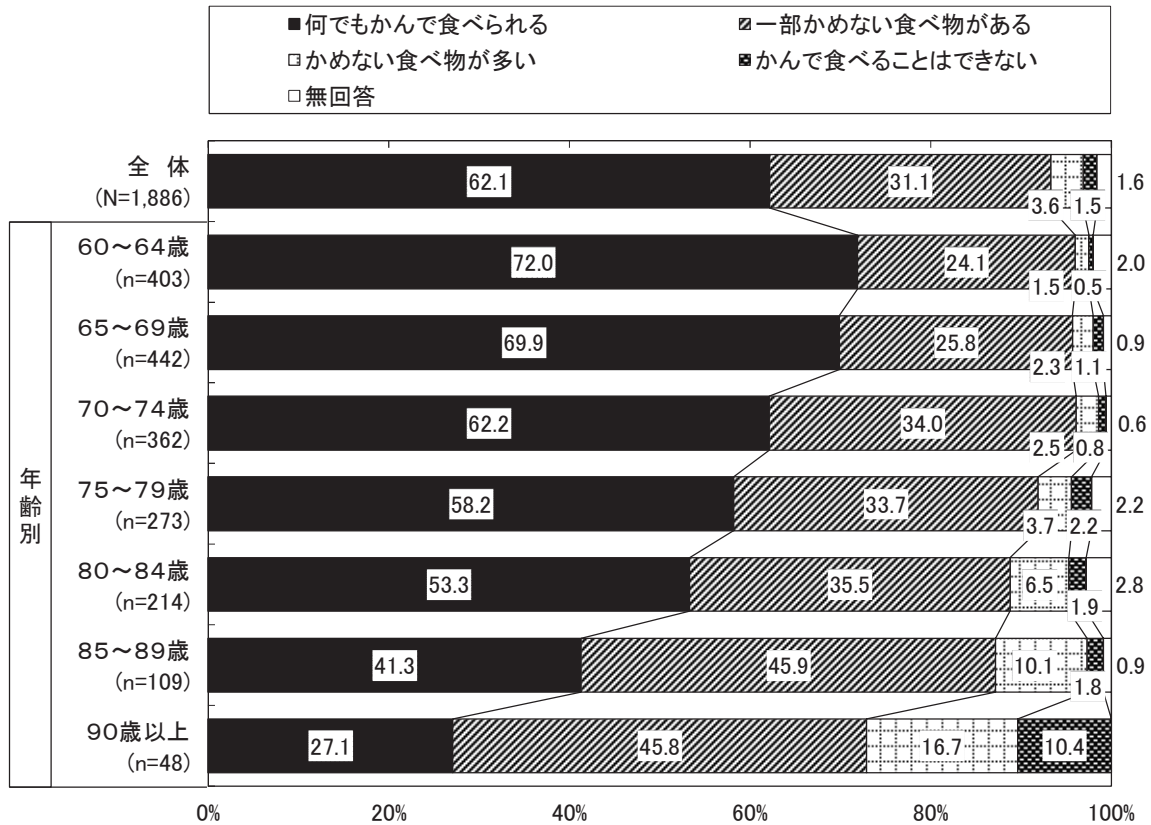
年齢別にみると、年齢が高くなるほど歯の本数は減少傾向にある。

健康状態別にみると、健康であるほど歯の本数も多いことがうかがえる。

(4) 咀嚼の状況

問 15 あなたは、どのくらいの硬さのものまで、かんで食べることができますか。(〇は1つ)

【咀嚼の状況×年齢別】



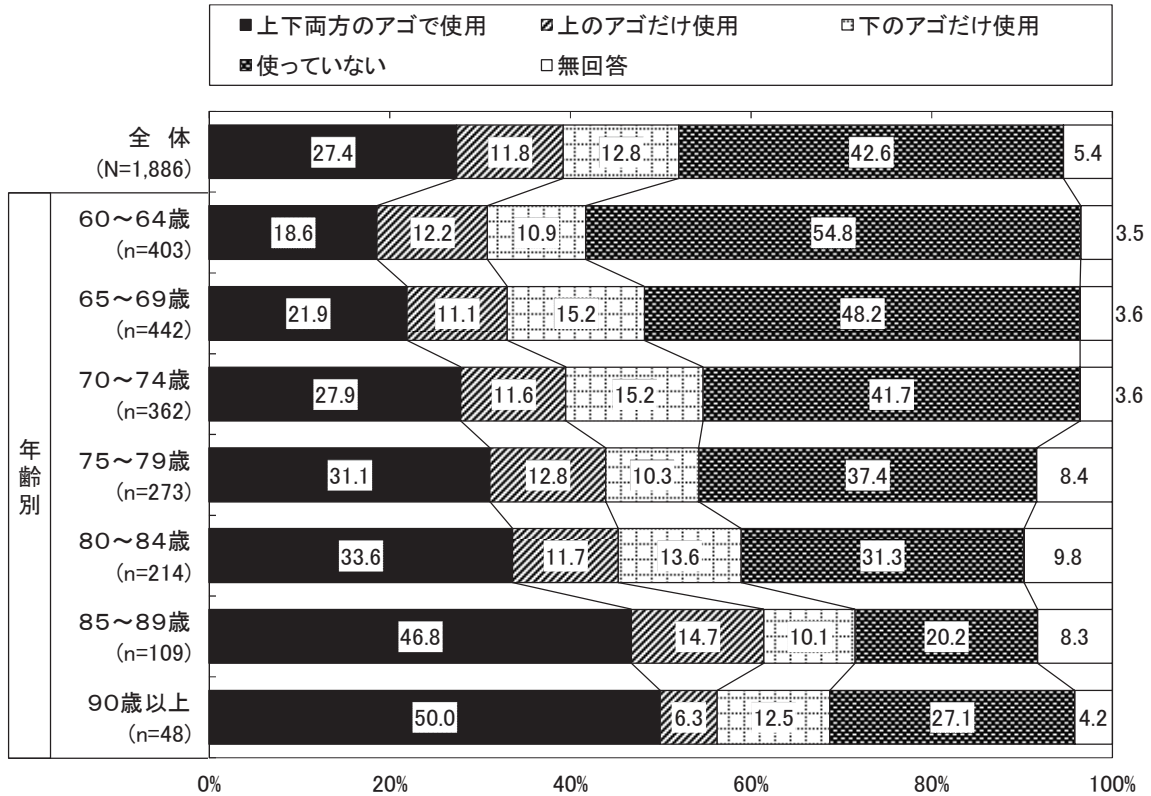
咀嚼の状況は、「何でもかんで食べられる」が 62.1%で最も高く、次いで「一部かめない食べ物がある」が 31.1%、「かめない食べ物が多い」が 3.6%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「何でもかんで食べられる」の割合は低くなり、90歳以上では 27.1%となっている。

(5) 入れ歯・ブリッジの使用状況

問 16 あなたは、入れ歯やブリッジ（取り外しできない入れ歯）を使っていますか。（○は1つ）

【入れ歯・ブリッジの使用状況×年齢別】



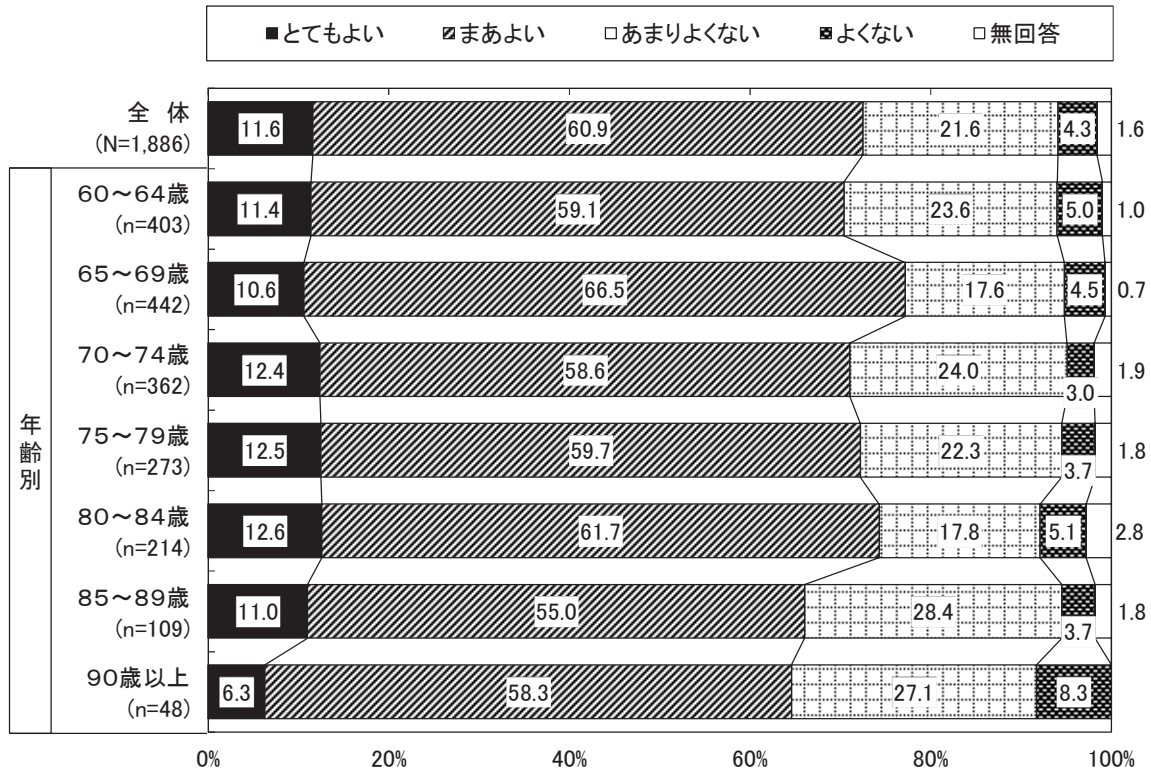
入れ歯・ブリッジの使用状況は、「使っていない」が 42.6%で最も高く、次いで「上下両方のアゴで使用」が 27.4%、「下のアゴだけ使用」が 12.8%となっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「上下両方のアゴで使用」の割合が高くなっており、90歳以上では 50.0%となっている。

(6) 口腔の健康状態

問 17 あなたのお口（歯や歯ぐき、入れ歯）の健康状態はいかがですか。（○は1つ）

【口腔の健康状態×年齢別】

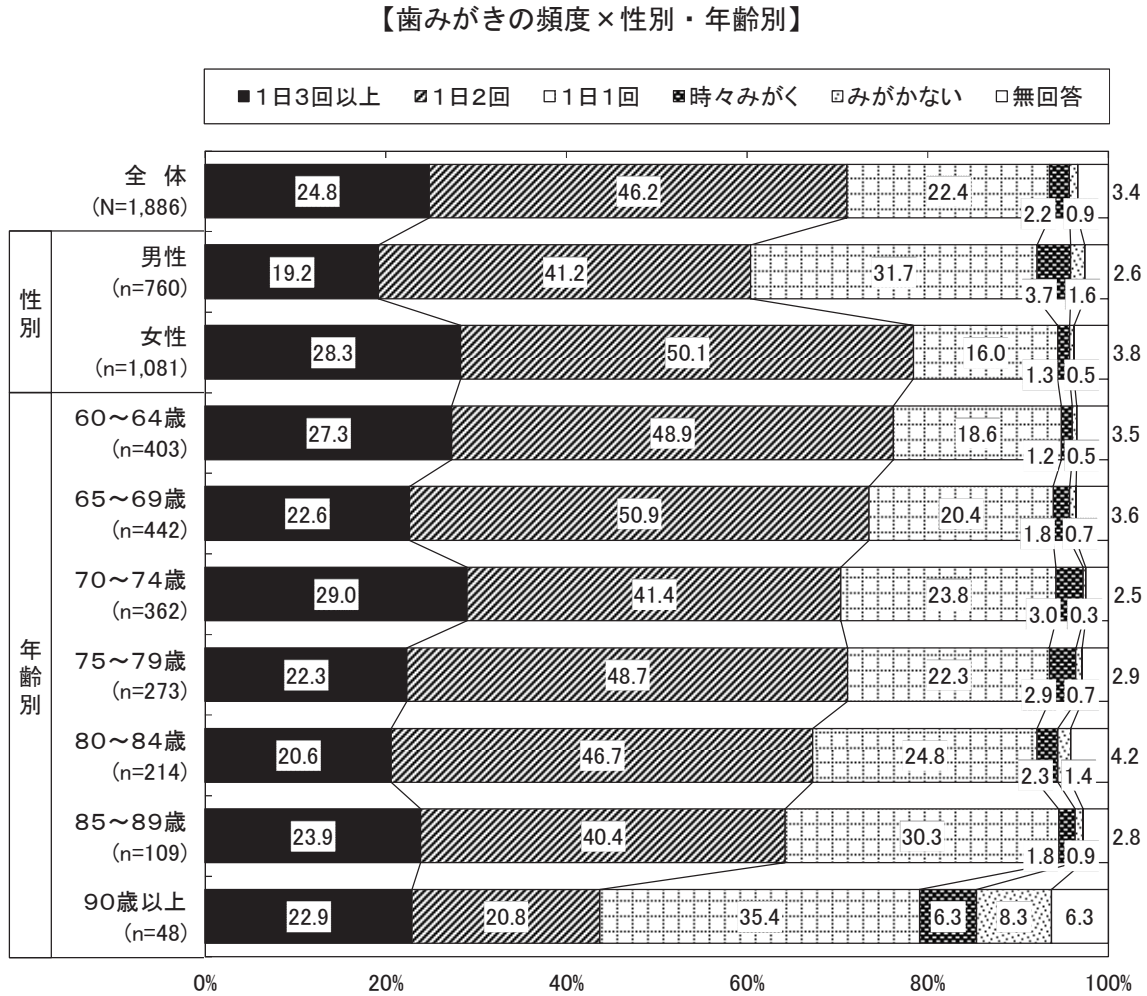


口腔の健康状態は、「まあよい」が60.9%で最も高く、次いで「あまりよくない」が21.6%、「とてもよい」が11.6%となっている。

年齢別にみると、85歳以上になると「あまりよくない」「よくない」を合わせた割合が3割を超えている。

(7) 歯みがきの頻度

問 18 あなたの歯みがきの頻度をお答えください。(〇は1つ)



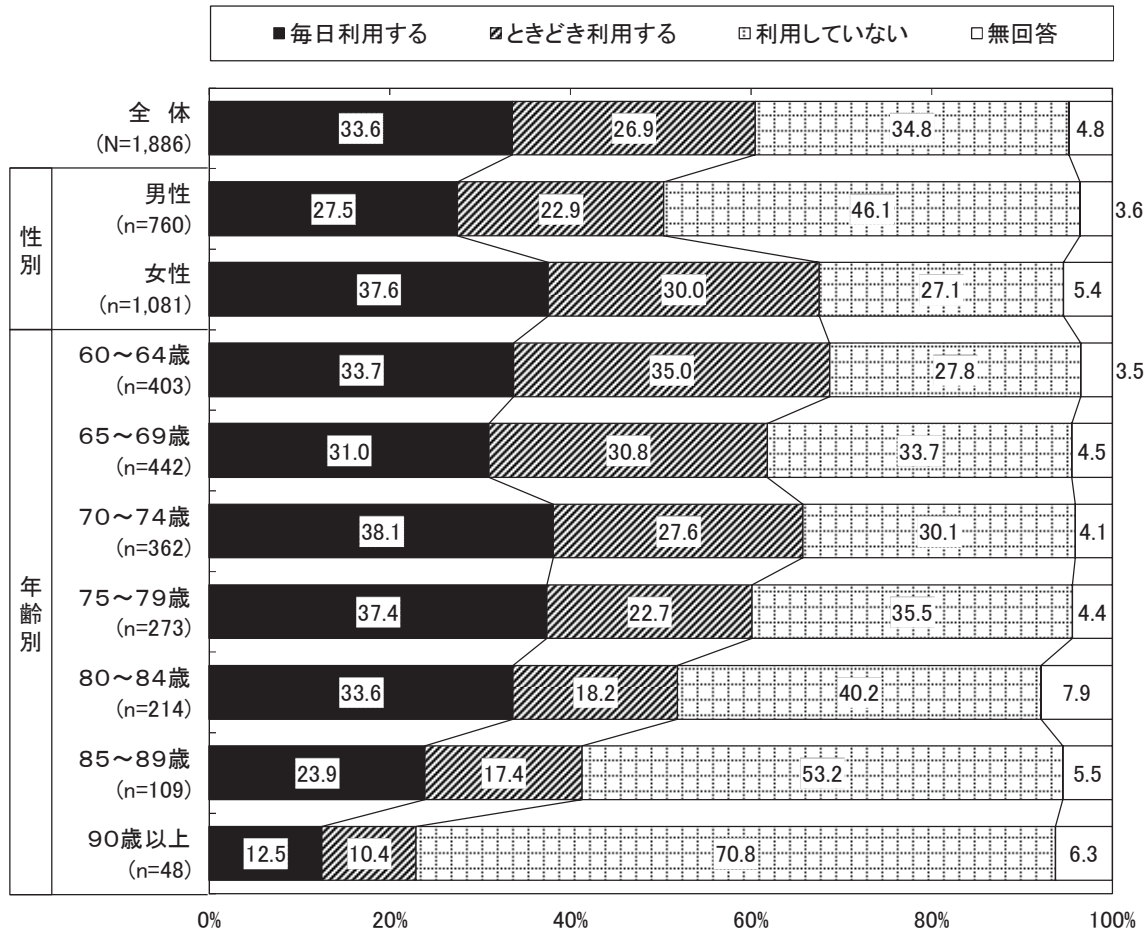
歯みがきの頻度は、「1日2回」が46.2%で最も高く、次いで「1日3回以上」が24.8%、「1日1回」が22.4%となっている。

年齢別にみると、90歳以上では「時々みがく」「みがかない」の割合が他と比べて高くなっている。

(8) 歯間部清掃用器具の使用状況

問 19 あなたは、歯間ブラシやデンタルフロスを利用していますか。(〇は1つ)

【歯間部清掃用器具の使用状況×性別・年齢別】



歯間部清掃用器具の使用状況は、「利用していない」が34.8%で最も高く、次いで「毎日利用する」が33.6%、「ときどき利用する」が26.9%となっている。

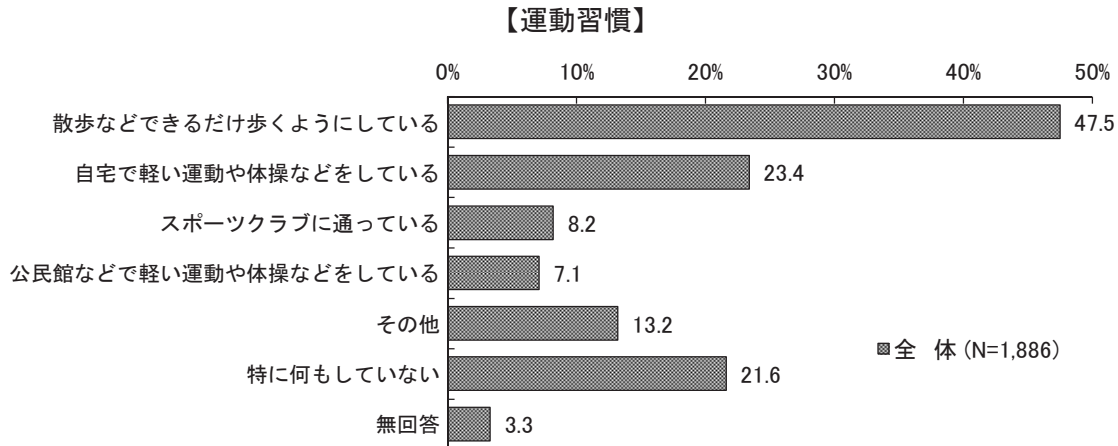
性別にみると、男性の方が女性より「利用していない」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「利用していない」の割合が高くなっている。

(9) 運動

① 運動習慣

問 20 健康づくりや介護予防のために、何か運動をしていますか。(〇はいくつでも)



運動習慣は、「散歩などできるだけ歩くようにしている」が 47.5%で最も高く、次いで「自宅で軽い運動や体操などをしている」が 23.4%、「特に何もしていない」が 21.6%となっている。

【運動習慣×性別・年齢別・健康状態別】

(%)

		回答数	よ散歩などできるだけ歩く	ど自宅で軽い運動や体操など	いるスポーツクラブに通って	体操公民館などで軽い運動や	その他	特に何もしていない	無回答
全 体		1,886	896	442	154	134	249	407	63
		100.0	47.5	23.4	8.2	7.1	13.2	21.6	3.3
性別	男性	760	50.5	20.4	6.4	2.8	13.8	21.3	2.5
	女性	1,081	45.1	25.8	9.4	10.4	12.7	22.1	3.6
年齢別	60～64歳	403	38.0	18.1	10.4	5.5	11.2	30.5	3.5
	65～69歳	442	47.3	24.0	10.6	6.3	10.0	24.0	3.6
	70～74歳	362	56.4	24.9	7.2	10.2	13.3	15.5	2.5
	75～79歳	273	56.0	27.1	9.2	8.4	12.5	12.5	2.9
	80～84歳	214	46.3	29.4	3.7	6.5	18.7	18.7	3.7
	85～89歳	109	40.4	22.0	2.8	5.5	20.2	24.8	1.8
	90歳以上	48	29.2	18.8	2.1	6.3	18.8	33.3	4.2
健康状態別	健康である	954	51.4	21.2	12.6	8.7	12.6	18.3	2.6
	外出はひとりできる	743	51.0	28.1	4.3	6.5	11.6	19.7	3.8
	外出はひとりできない	106	17.9	21.7	1.9	1.9	24.5	35.8	5.7
	ベッドでの生活が主体	33	6.1	18.2	-	3.0	21.2	54.5	3.0
	1日中ベッドの上	23	-	-	-	-	17.4	82.6	-

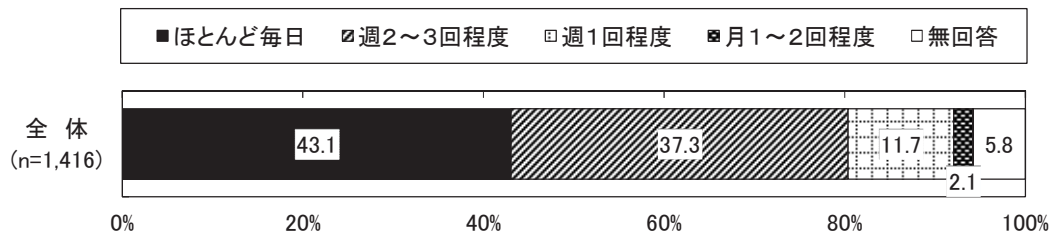
性別にみると、女性の方が男性より「公民館などで軽い運動や体操などをしている」の割合が高くなっている。

② 運動の頻度

【問20で「1.～5.」と答えた方にうかがいます】

問20-1 それはどれくらいの頻度でしていますか。(〇は1つ)

【運動の頻度】

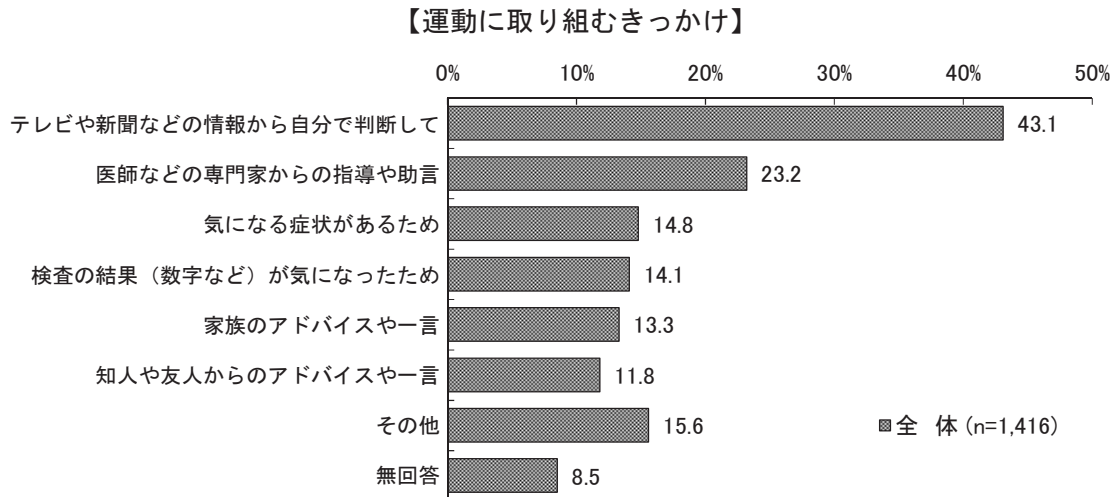


運動の頻度は、「ほとんど毎日」が43.1%で最も高く、次いで「週2～3回程度」が37.3%、「週1回程度」が11.7%となっている。

③ 運動に取り組むきっかけ

【問 20 で「1. ～5.」と答えた方にうかがいます】

問 20-2 介護予防のために運動に取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。
(〇はいくつでも)

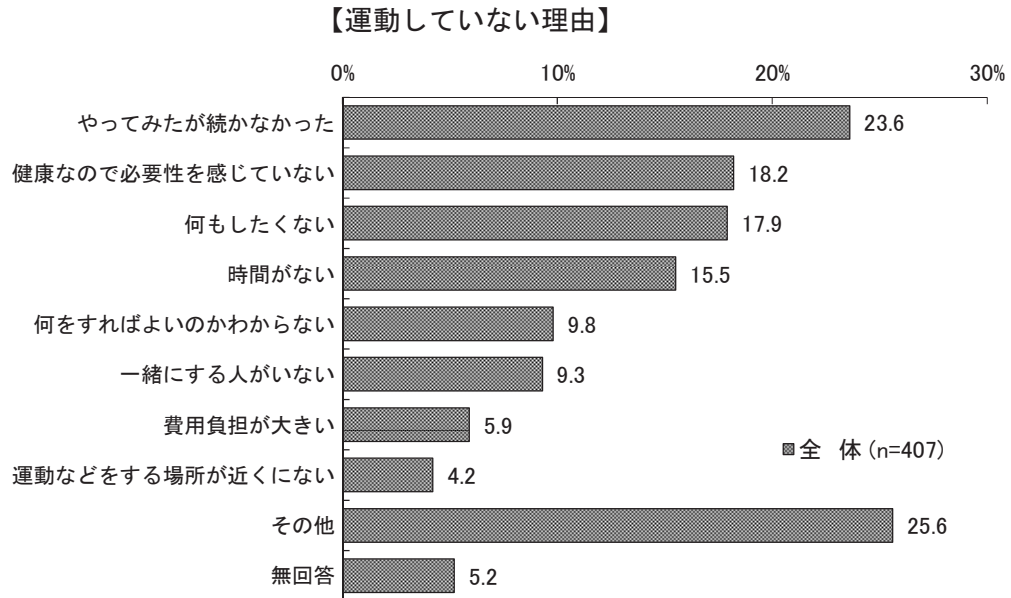


運動に取り組むきっかけは、「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が 43.1%で最も高く、次いで「医師などの専門家からの指導や助言」が 23.2%となっている。

④ 運動をしていない理由

【問20で「6.」と答えた方にうかがいます】

問20-3 何もしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

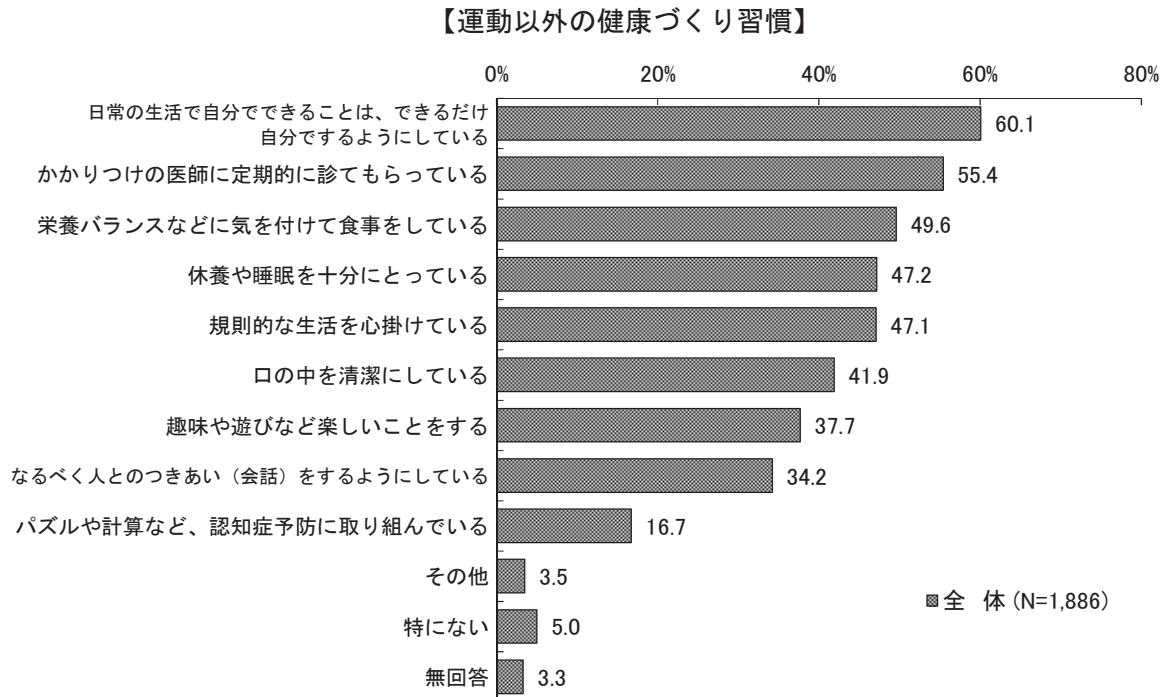


運動をしていない理由は「やってみたが続かなかった」が23.6%で最も高く、次いで「健康なので必要性を感じていない」が18.2%、「何もしたくない」が17.9%となっている。

(10) 健康づくり習慣

① 運動以外の健康づくり習慣

問 21 健康づくりや介護予防のために、運動以外で気を付けていることはありますか。
(〇はいくつでも)



運動以外の健康づくり習慣は、「日常生活で自分でできることは、できるだけ自分でするようにしている」が 60.1%で最も高く、次いで「かかりつけの医師に定期的に診てもらっている」が 55.4%、「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」が 49.6%となっている。

【運動以外の健康づくり習慣×性別・年齢別・健康状態別】

(%)

	回答数	分る日常の生活で自分だけできる	的にかかりつけの医師に定期的	付栄養バランスなど気をつけて食事している	て休養や睡眠を十分にとっている	いる規則的な生活を心掛けて	口の中を清潔にしている	と趣味や遊びなど楽しいことをする	て(会話)をするようにしている	なるべく人とのつきあいを認	症予防に計算など、認	パズルや計算など、認	その他
全体	1,886 100.0	1,134 60.1	1,044 55.4	935 49.6	891 47.2	889 47.1	791 41.9	711 37.7	645 34.2	315 16.7	66 3.5		
性別													
男性	760	53.4	59.3	41.3	50.4	46.6	34.1	39.2	25.0	12.2	3.7		
女性	1,081	64.9	53.1	55.2	44.8	47.5	47.0	36.1	40.1	20.0	3.2		
年齢別													
60～64歳	403	50.6	39.5	51.6	44.9	48.9	37.7	34.0	27.0	12.4	3.7		
65～69歳	442	59.0	47.1	50.2	45.5	50.0	39.6	43.9	32.6	17.9	2.9		
70～74歳	362	66.6	55.8	51.1	46.4	50.3	45.6	43.9	39.2	21.0	3.6		
75～79歳	273	63.0	65.6	51.6	53.1	48.0	46.9	38.1	40.7	16.5	2.9		
80～84歳	214	68.2	74.3	45.3	45.8	38.3	39.7	29.0	36.0	15.0	2.8		
85～89歳	109	61.5	73.4	42.2	52.3	38.5	44.0	22.0	33.9	20.2	2.8		
90歳以上	48	47.9	83.3	39.6	47.9	37.5	43.8	22.9	18.8	16.7	8.3		
健康状態別													
健康である	954	59.7	41.8	53.8	48.0	53.0	43.1	43.5	38.8	16.5	3.7		
外出はひとりできる	743	65.1	69.3	47.1	48.5	43.7	43.6	36.9	32.3	18.2	3.4		
外出はひとりできない	106	50.9	75.5	40.6	41.5	30.2	31.1	14.2	20.8	13.2	2.8		
ベッドでの生活が主体	33	36.4	75.8	42.4	42.4	27.3	36.4	9.1	21.2	15.2	3.0		
1日中ベッドの上	23	8.7	52.2	26.1	30.4	30.4	21.7	4.3	4.3	4.3	4.3		

	特 に な い	無 回 答
全体	95 5.0	62 3.3
性別		
男性	5.0	2.6
女性	4.9	3.6
年齢別		
60～64歳	7.4	3.5
65～69歳	5.9	3.8
70～74歳	3.6	1.9
75～79歳	2.6	2.9
80～84歳	3.3	4.2
85～89歳	3.7	2.8
90歳以上	8.3	2.1
健康状態別		
健康である	5.2	2.7
外出はひとりできる	3.4	3.8
外出はひとりできない	7.5	3.8
ベッドでの生活が主体	12.1	-
1日中ベッドの上	21.7	8.7

性別にみると、女性の方が男性より「日常の生活で自分で行えることは、できるだけ自分で行っている」「口の中を清潔にしている」「栄養バランスなどに気を付けて食事をしている」「なるべく人とのつきあい(会話)をするようにしている」の割合が高くなっている。

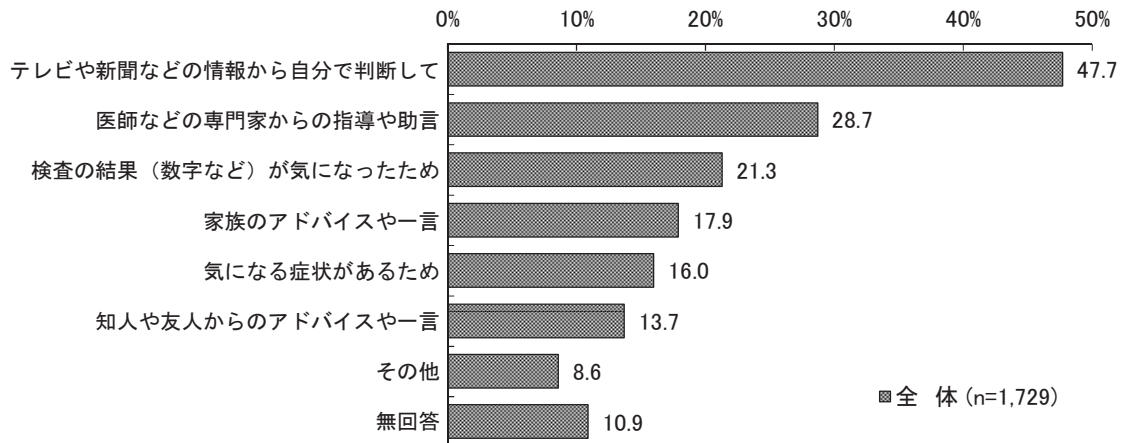
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「かかりつけの医師に定期的に診てもらっている」の割合が高くなっており、70歳以上では半数を超えている。

② 運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ

【問 21 で「1. ～10.」と答えた方にうかがいます】

問 21-1 介護予防のために運動以外のことに取り組むこととなった主なきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

【運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ】



運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけは、「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」が 47.7% で最も高く、次いで「医師などの専門家からの指導や助言」が 28.7%、「検査の結果(数字など)が気になったため」が 21.3% となっている。

【運動以外の健康づくり習慣に取り組むきっかけ×性別・年齢別】

		回答数	テレビや新聞などの情報から自分で判断して	医師などの専門家からの指導や助言	検査の結果(数字など)が気になったため	家族のアドバイスや一言	気になる症状があるため	知人や友人からのアドバイス	その他	無回答
全 体		1,729	47.7	28.7	21.3	17.9	16.0	13.7	8.6	10.9
性 別	男性	702	41.9	33.6	25.6	21.4	17.2	9.8	9.0	9.4
	女性	989	52.1	25.3	17.8	15.7	15.1	16.7	8.2	11.8
年 齢 別	60～64歳	359	55.4	22.8	19.8	14.8	16.7	14.8	10.9	6.4
	65～69歳	399	50.1	22.3	23.3	16.3	15.3	15.0	9.0	9.5
	70～74歳	342	48.2	27.2	21.9	16.1	15.2	14.9	7.3	13.5
	75～79歳	258	41.9	30.6	22.9	20.2	15.9	15.1	7.0	13.6
	80～84歳	198	43.4	40.4	20.2	21.7	18.7	9.6	8.1	11.6
	85～89歳	102	40.2	41.2	13.7	24.5	15.7	9.8	9.8	14.7
	90歳以上	43	37.2	51.2	18.6	30.2	11.6	4.7	-	11.6

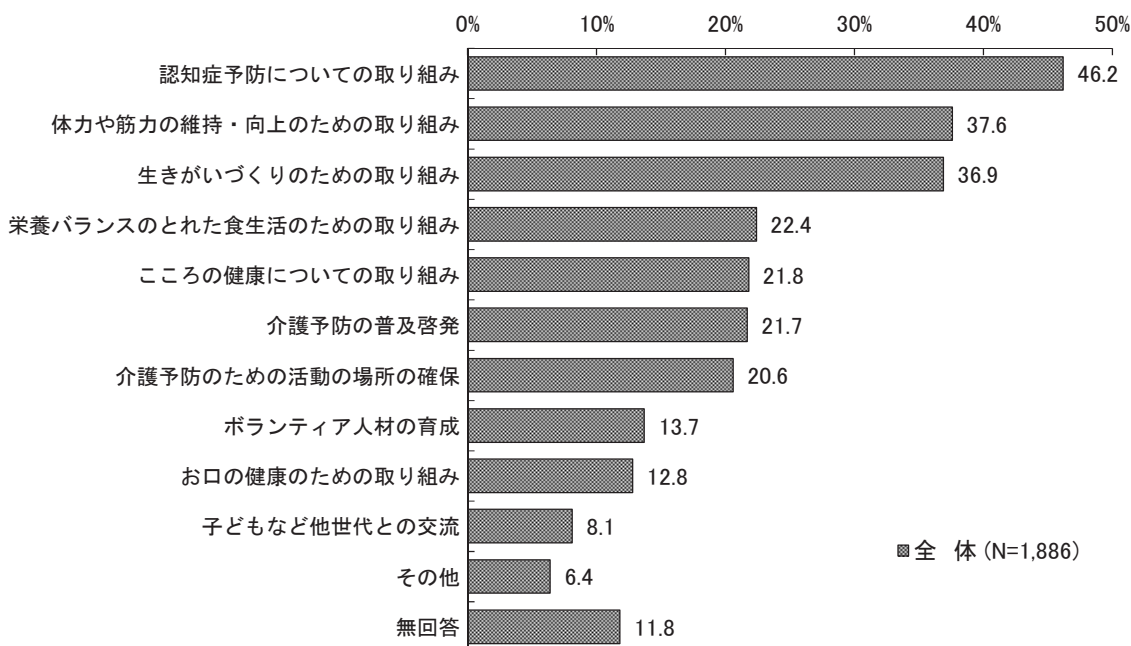
性別にみると、女性の方が男性より「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「テレビや新聞などの情報から自分で判断して」の割合が高くなっており、年齢が高くなるほど「医師などの専門家からの指導や助言」の割合が高くなっている。

(11) 介護予防として福岡市に力を入れてほしいこと

問 22 介護予防として、今後福岡市に力を入れてほしいことはどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

【介護予防として福岡市に力を入れてほしいこと】



介護予防として福岡市に力を入れてほしいことは、「認知症予防についての取り組み」が 46.2%で最も高く、次いで「体力や筋力の維持・向上のための取り組み」が 37.6%、「生きがいづくりのための取り組み」が 36.9%となっている。

【介護予防として福岡市に力を入れてほしいこと×性別・年齢別】

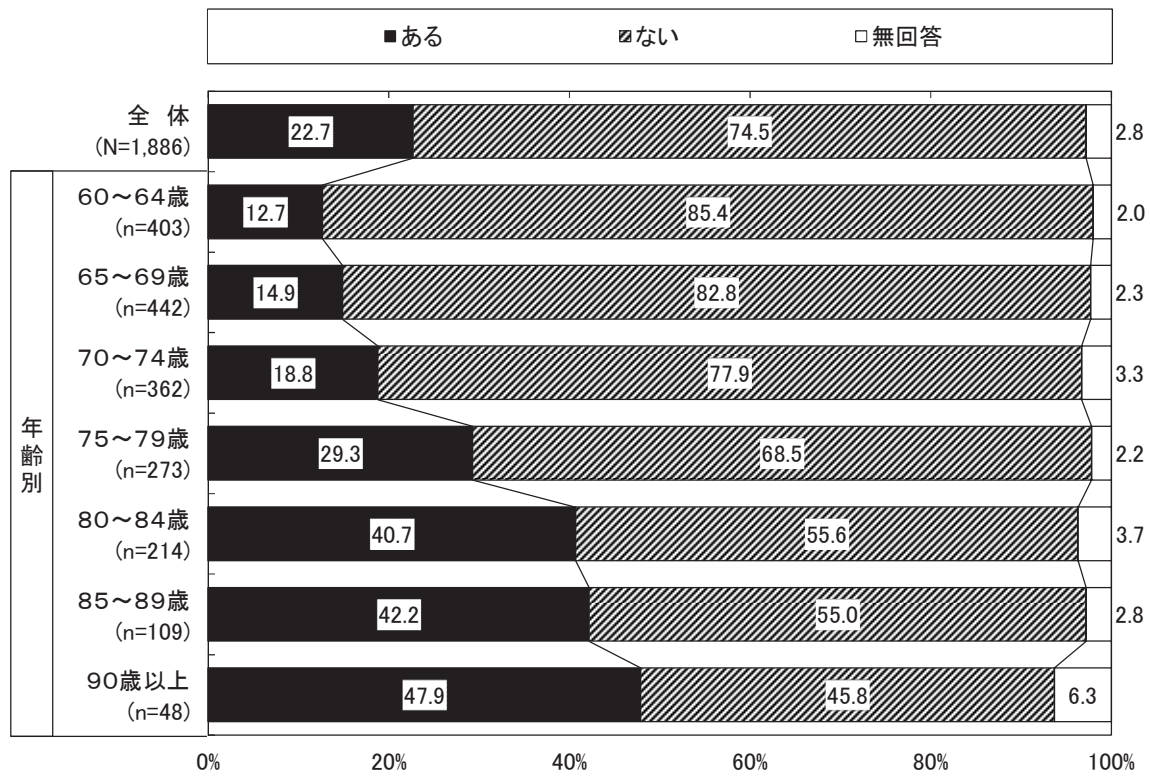
		回答数	認知症予防についての取り組み	体力や筋力の維持・向上のための取り組み	生きがいづくりのための取り組み	生活栄養バランスのとれた食生活のための取り組み	こころの健康についての取り組み	介護予防の普及啓発	場所の確保のための活動の場	介護予防のための活動の場	ボランティア人材の育成	お口の健康のための取り組み	子どもなど他世代との交流	その他	無回答
全 体		1,886	46.2	37.6	36.9	22.4	21.8	21.7	20.6	13.7	12.8	8.1	6.4	11.8	
性 別	男性	760	45.0	39.5	36.7	22.5	22.2	23.2	18.8	15.1	13.0	6.8	7.4	10.0	
	女性	1,081	47.4	36.2	37.3	22.0	21.4	20.5	22.0	12.8	12.8	8.7	5.5	12.5	
年 齢 別	60～64歳	403	44.2	41.7	44.2	22.1	26.6	23.3	26.1	20.1	14.6	9.9	6.2	7.7	
	65～69歳	442	41.9	38.9	40.7	17.0	19.9	21.9	20.1	12.4	9.7	7.2	4.1	13.1	
	70～74歳	362	49.4	38.4	37.6	25.1	22.1	21.8	21.0	14.6	14.1	9.4	6.9	10.8	
	75～79歳	273	50.5	37.4	33.3	24.9	18.3	22.3	16.1	12.1	12.5	5.1	7.0	14.3	
	80～84歳	214	50.0	32.2	27.1	27.1	23.4	18.7	19.6	8.4	13.6	5.6	8.4	13.1	
	85～89歳	109	47.7	27.5	29.4	19.3	18.3	16.5	16.5	7.3	14.7	9.2	5.5	14.7	
	90歳以上	48	41.7	29.2	18.8	22.9	18.8	25.0	18.8	14.6	14.6	8.3	8.3	12.5	

(12) 認知症

① 認知症への不安

問 23 物忘れが多く、認知症ではないかと心配になることがありますか。(○は1つ)

【認知症への不安×年齢別】



認知症への不安は、「ある」が22.7%、「ない」が74.5%となっている。
年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ある」の割合が高くなっている。

【認知症への不安×年齢別・要介護度別・健康状態別】

(%)

		回答数	ある	ない	無回答
全体		1,886	428	1,406	52
		100.0	22.7	74.5	2.8
年齢別	60～64歳	403	12.7	85.4	2.0
	65～69歳	442	14.9	82.8	2.3
	70～74歳	362	18.8	77.9	3.3
	75～79歳	273	29.3	68.5	2.2
	80～84歳	214	40.7	55.6	3.7
	85～89歳	109	42.2	55.0	2.8
	90歳以上	48	47.9	45.8	6.3
要介護度別	未申請	1,442	17.8	80.4	1.9
	非該当（自立）	21	28.6	61.9	9.5
	要支援1	65	38.5	56.9	4.6
	要支援2	34	47.1	50.0	2.9
	要介護1	38	71.1	26.3	2.6
	要介護2	29	62.1	34.5	3.4
	要介護3	19	73.7	21.1	5.3
	要介護4	16	56.3	25.0	18.8
	要介護5	22	63.6	27.3	9.1
	わからない	86	27.9	69.8	2.3
健康状態別	健康である	954	13.1	84.9	2.0
	外出はひとりできる	743	27.3	70.0	2.7
	外出はひとりできない	106	54.7	41.5	3.8
	ベッドでの生活が主体	33	66.7	30.3	3.0
	1日中ベッドの上	23	56.5	30.4	13.0

要介護度別にみると、要介護2～5の人では「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

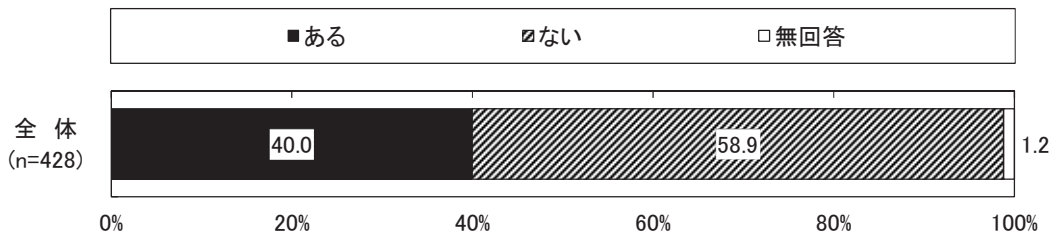
健康状態別にみると、外出はひとりできない人、ベッドでの生活が主体の人、1日中ベッドの上の人では「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

② 認知症についての相談の有無

【問 23 で「1.」と答えた方にうかがいます】

問 23-1 認知症について誰かに相談したことはありますか。(〇は1つ)

【認知症についての相談の有無】



認知症についての相談の有無は、「ある」が40.0%、「ない」が58.9%となっている。

【認知症についての相談の有無×性別・年齢別】

		回答数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全体		428	40.0	58.9	1.2
性別	男性	155	31.0	68.4	0.6
	女性	264	45.8	52.7	1.5
年齢別	60～64歳	51	31.4	66.7	2.0
	65～69歳	66	24.2	75.8	-
	70～74歳	68	39.7	58.8	1.5
	75～79歳	80	36.3	62.5	1.3
	80～84歳	87	46.0	52.9	1.1
	85～89歳	46	56.5	41.3	2.2
	90歳以上	23	65.2	34.8	-

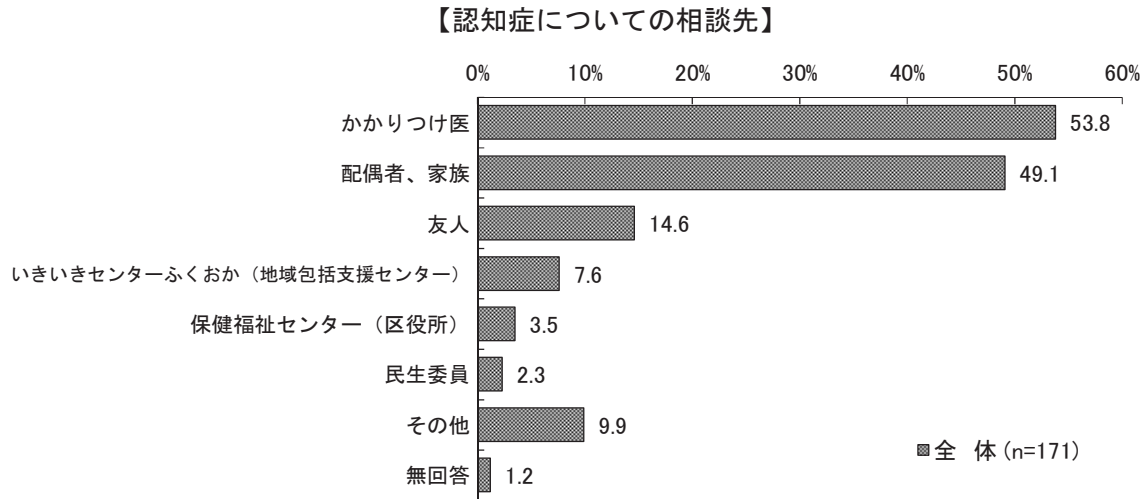
性別にみると、女性の方が男性より「ある」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、85歳以上では「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

③ 認知症についての相談先

【問23-1で「1.」と答えた方にうかがいます】

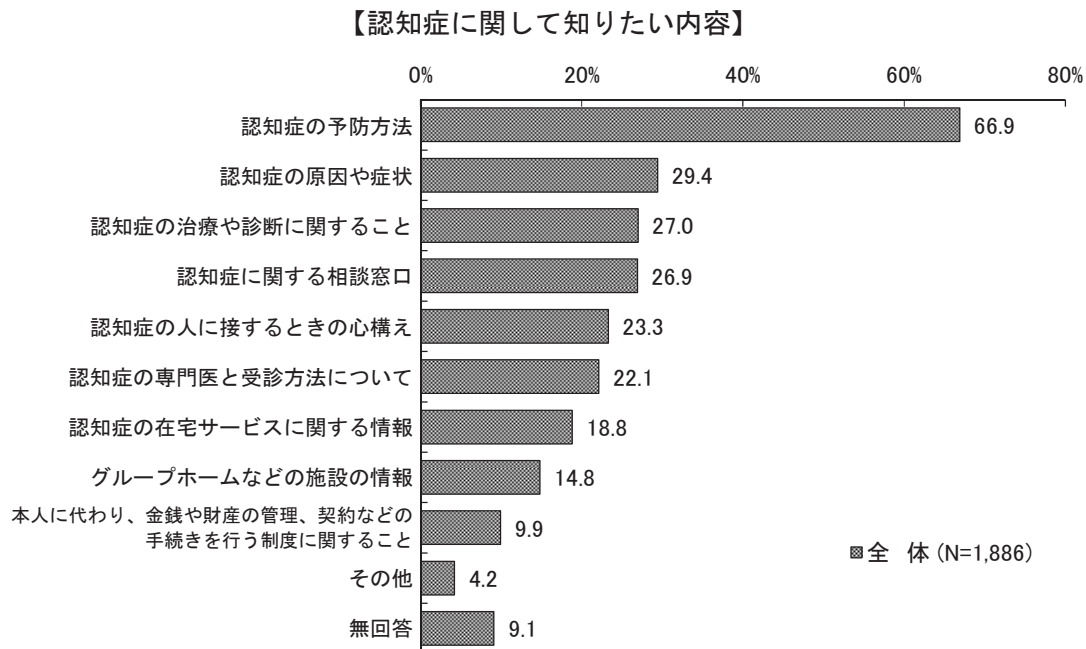
問23-2 誰に相談しましたか（〇はいくつでも）



認知症についての相談先は、「かかりつけ医」が53.8%で最も高く、次いで「配偶者、家族」が49.1%となっている。

(13) 認知症に関して知りたい内容

問 24 認知症に関してどのようなことが知りたいですか。(〇はいくつでも)

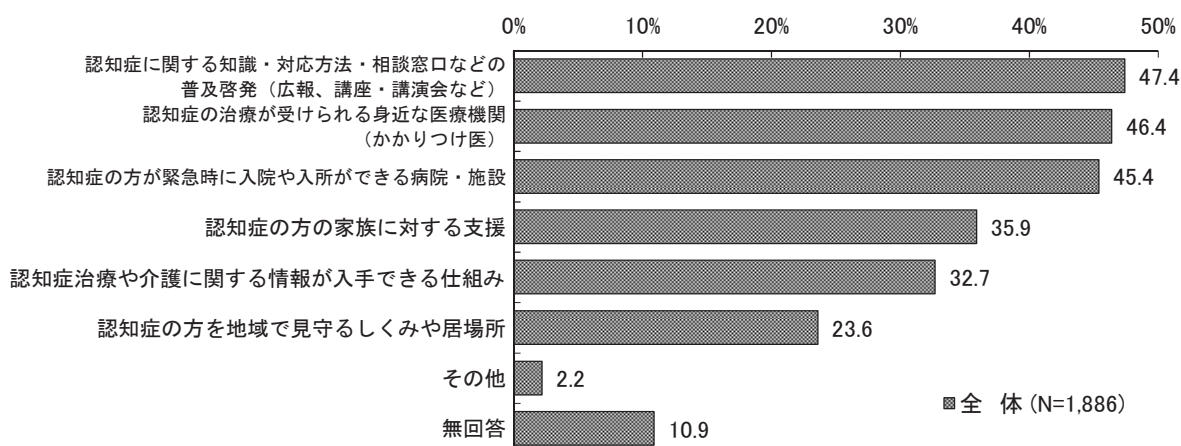


認知症に関して知りたい内容は、「認知症の予防方法」が 66.9%で最も高く、次いで「認知症の原因や症状」が 29.4%、「認知症の治療や診断に関すること」が 27.0%となっている。

(14) 認知症対策として充実してほしいこと

問 25 認知症対策として充実した方がよいと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

【認知症対策として充実してほしいこと】



認知症対策として充実してほしいことは、「認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発 (広報、講座・講演会など)」が 47.4%で最も高く、次いで「認知症の治療が受けられる身近な医療機関 (かかりつけ医)」が 46.4%、「認知症の方が緊急時に入院や入所ができる病院・施設」が 45.4%となっている。

【認知症対策として充実してほしいこと×性別・年齢別】

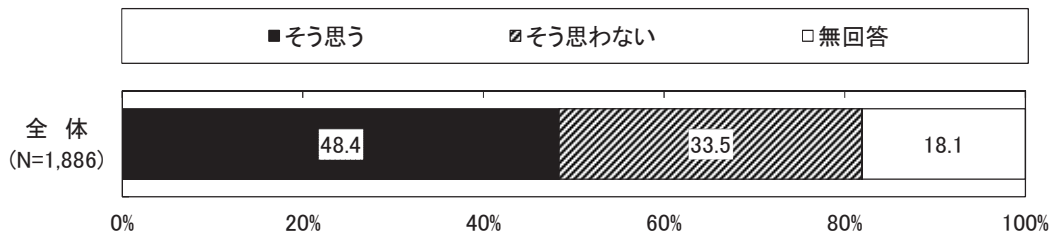
		回答数	認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発 (広報、講座・講演会など)	身近な医療機関 (かかりつけ医)	認知症の方が緊急時に入院や入所ができる病院・施設	認知症の方の家族に対する支援	認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み	認知症の方を地域で見守るしくみや居場所	その他	無回答
全体		1,886	894	876	857	677	616	445	42	205
		100.0	47.4	46.4	45.4	35.9	32.7	23.6	2.2	10.9
性別	男性	760	53.3	45.3	42.1	33.4	33.3	21.1	2.9	9.2
	女性	1,081	43.9	47.0	48.1	37.5	31.9	25.2	1.9	11.8
年齢別	60～64歳	403	49.1	53.8	53.6	47.4	40.4	31.0	1.7	4.7
	65～69歳	442	50.7	44.1	47.3	38.0	33.7	22.6	1.8	7.9
	70～74歳	362	50.8	47.5	45.9	33.7	30.9	24.0	1.9	9.9
	75～79歳	273	47.6	43.2	39.2	26.4	28.6	21.2	2.6	17.6
	80～84歳	214	40.2	45.3	41.1	29.0	25.2	16.4	3.7	17.3
	85～89歳	109	38.5	44.0	37.6	26.6	25.7	20.2	0.9	15.6
	90歳以上	48	37.5	22.9	37.5	39.6	33.3	12.5	4.2	18.8

性別にみると、男性の方が女性より「認知症に関する知識・対応方法・相談窓口などの普及啓発 (広報、講座・講演会など)」の割合が高くなっている。

(15) 「福岡市は認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるまち」であるか

問 26 福岡市は、認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるまちだと思いますか。(〇は1つ)

【「福岡市は認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるまち」であるか】



「福岡市は認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるまち」であるかは、「そう思う」が 48.4%、「そう思わない」が 33.5%となっている。

【「福岡市は認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けることができるまち」であるか×年齢別】

		(%)			
		回答数	そう思う	そう思わない	無回答
全 体		1,886	48.4	33.5	18.1
年 齢 別	60～64歳	403	46.2	42.4	11.4
	65～69歳	442	45.9	34.6	19.5
	70～74歳	362	47.2	32.6	20.2
	75～79歳	273	46.9	31.1	22.0
	80～84歳	214	53.7	27.1	19.2
	85～89歳	109	65.1	20.2	14.7
	90歳以上	48	52.1	20.8	27.1

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「そう思わない」の割合は高くなり、60～64歳で 42.4%となっている。

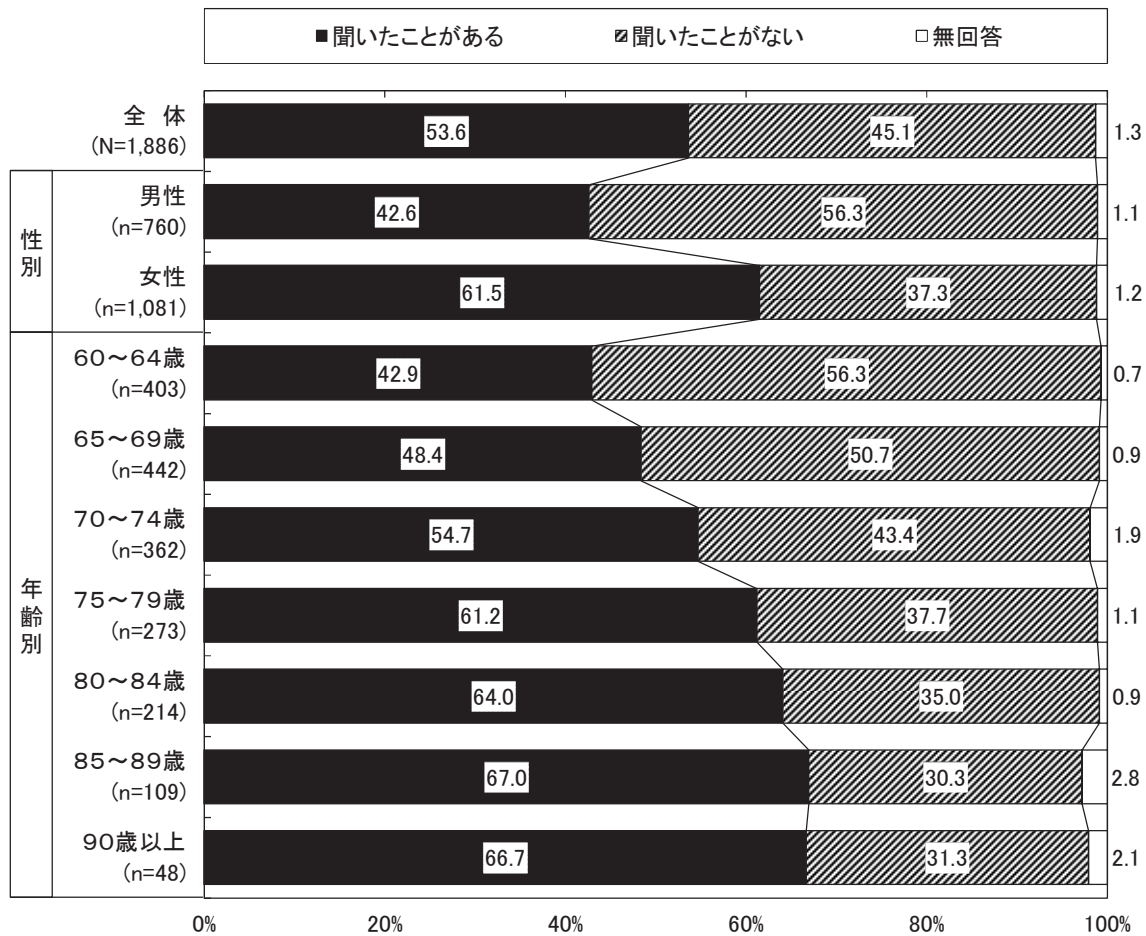
3. いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）について

（1）いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）

① いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度

問 27 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）という名前を聞いたことがありますか。（〇は1つ）

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×性別・年齢別】



いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度は、「聞いたことがある」が 53.6%、「聞いたことがない」が 45.1%となっている。

性別にみると、女性の方が男性より「聞いたことがある」の割合が高くなっており、61.5%で半数を超えている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「聞いたことがある」の割合が高くなっており、75歳以上では6割を超えている。

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知度×経年比較】

		(%)			
		回 答 数	聞 い た こ と が あ る	聞 い た こ と が な い	無 回 答
全 体		1,886 100.0	1,011 53.6	850 45.1	25 1.3
経 年	平成 2 5 年度	2,985	46.8	49.6	3.6
	平成 2 2 年度	2,939	40.6	52.9	6.5

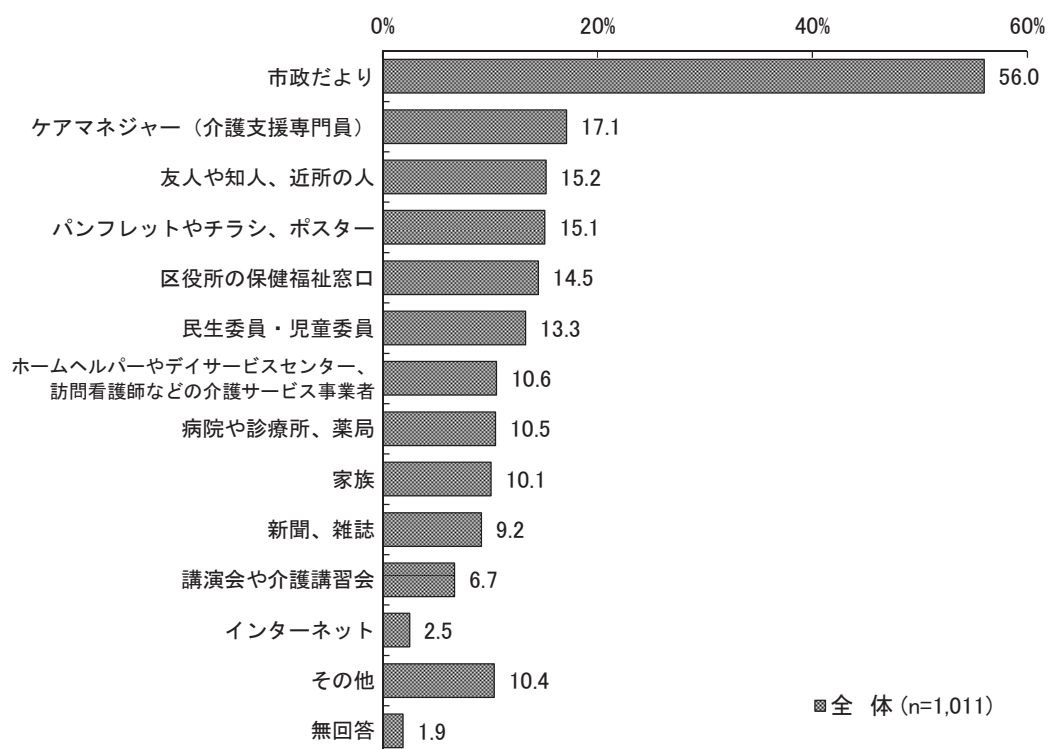
過去の調査結果と比較すると、「聞いたことがある」の割合は増加している。

② いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知媒体

【問27で「1.」と答えた方にうかがいます】

問27-1 どのようにして、いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）を知りましたか。（〇はいくつでも）

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知媒体】



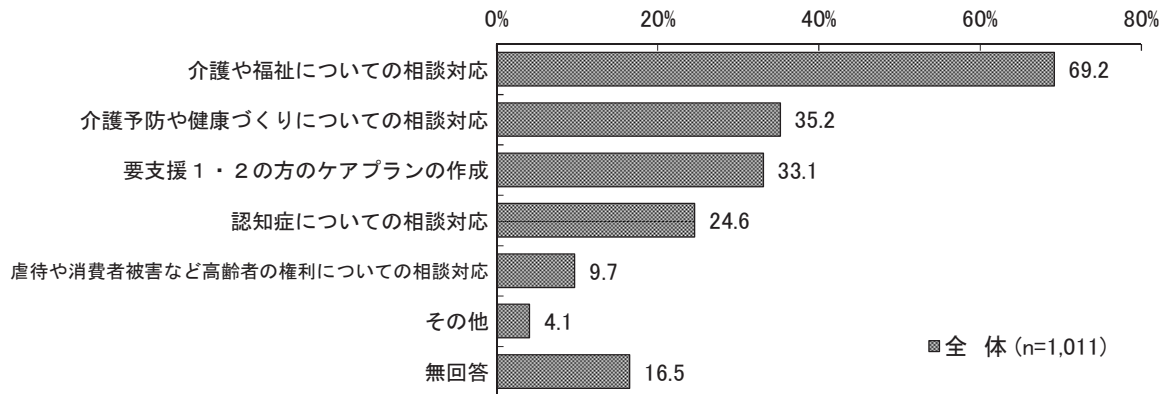
いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の認知媒体は、「市政だより」が56.0%で最も高く、次いで「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が17.1%、「友人や知人、近所の人」が15.2%となっている。

③ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の業務内容の認知度

【問 27 で「1.」と答えた方にうかがいます】

問 27-2 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）が行っていることで知っていることは何ですか。（〇はいくつでも）

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の業務内容の認知度】



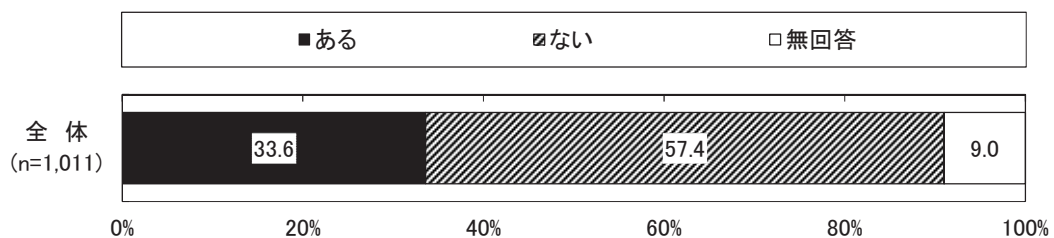
いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）の業務内容の認知度は、「介護や福祉についての相談対応」が 69.2% で最も高く、次いで「介護予防や健康づくりについての相談対応」が 35.2%、「要支援 1・2 の方のケアプランの作成」が 33.1% となっている。

④ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談した経験の有無

【問 27 で「1.」と答えた方にうかがいます】

問 27-3 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したり、センター職員から話を聞いたりしたことがありますか。（〇は 1 つ）

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談した経験の有無】



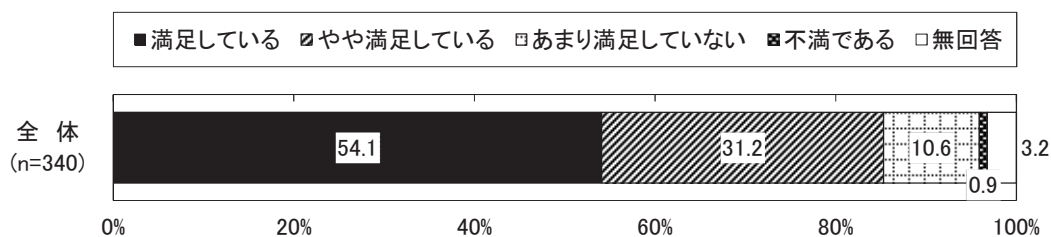
いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談した経験の有無は、「ある」が 33.6%、「ない」が 57.4% となっている。

⑤ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談した際の満足度

【問27-3で「1.」と答えた方にうかがいます】

問27-4 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したり、センター職員から話を聞いたりした際の満足度はどうでしたか。（〇は1つ）

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談した際の満足度】



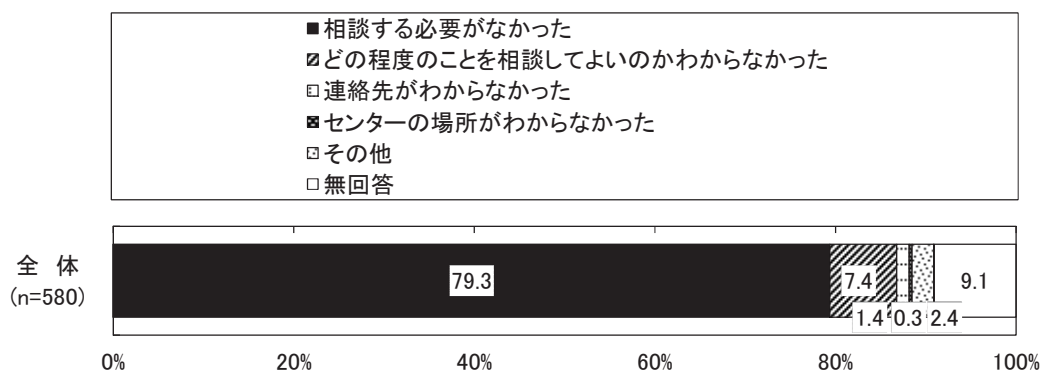
いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談した際の満足度は、「満足している」が54.1%で最も高く、次いで「やや満足している」が31.2%、「あまり満足していない」が10.6%となっている。

⑥ いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したことがない理由

【問27-3で「2.」と答えた方にうかがいます】

問27-5 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したり、センター職員から話を聞いたりしていない理由は何ですか。（〇は1つ）

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したことがない理由】

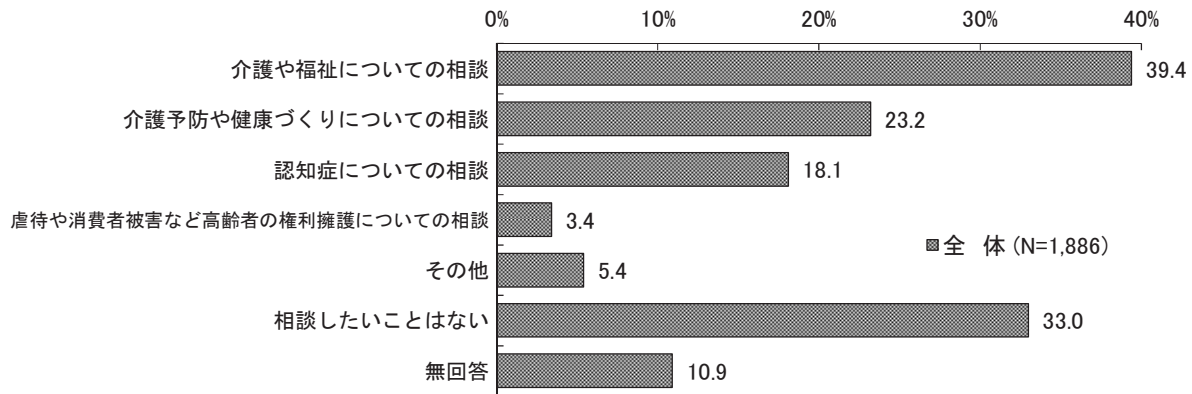


いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したことがない理由は、「相談する必要がなかった」が79.3%で最も高く、次いで「どの程度のことを相談してよいのかわからなかった」が7.4%となっている。

(2) いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したい内容

問 28 いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したいことはどんなことですか。（〇はいくつでも）

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したい内容】



いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したい内容は、「介護や福祉についての相談」が 39.4%、「介護予防や健康づくりについての相談」が 23.2%となっている。一方、「相談したいことはない」は全体の 33.0%を占める。

【いきいきセンターふくおか（地域包括支援センター）に相談したい内容×性別・年齢別】

		回答数	談介 護や 福祉 につ いて の相 談	つ介 い護 予の 防の 相や 健康 づく りに 関 する 相談	認 知 症 につ いて の相 談	の 相 談 者 の 権 利 擁 護 に 関 する 高 齢 者 の 相 談	虐 待 や 消 費 者 被 害 に 関 する 高 齢 者 の 相 談	そ の 他	相 談 し た い こ と は な い	無 回 答
全体		1,886	743	438	342	64	102	622	205	
		100.0	39.4	23.2	18.1	3.4	5.4	33.0	10.9	
性別	男性	760	37.5	26.1	18.9	3.9	5.1	34.9	9.6	
	女性	1,081	40.6	21.5	17.7	3.0	5.7	31.7	11.5	
年齢別	60～64歳	403	35.7	24.1	18.9	5.5	5.7	39.7	7.9	
	65～69歳	442	35.7	24.4	15.8	2.9	5.4	35.7	10.0	
	70～74歳	362	43.4	23.2	23.5	3.6	4.7	32.3	9.4	
	75～79歳	273	37.0	24.2	17.9	2.9	4.4	27.5	16.5	
	80～84歳	214	46.7	23.8	16.4	2.3	5.6	28.5	11.2	
	85～89歳	109	44.0	18.3	16.5	-	6.4	25.7	11.9	
	90歳以上	48	50.0	16.7	12.5	4.2	12.5	18.8	14.6	

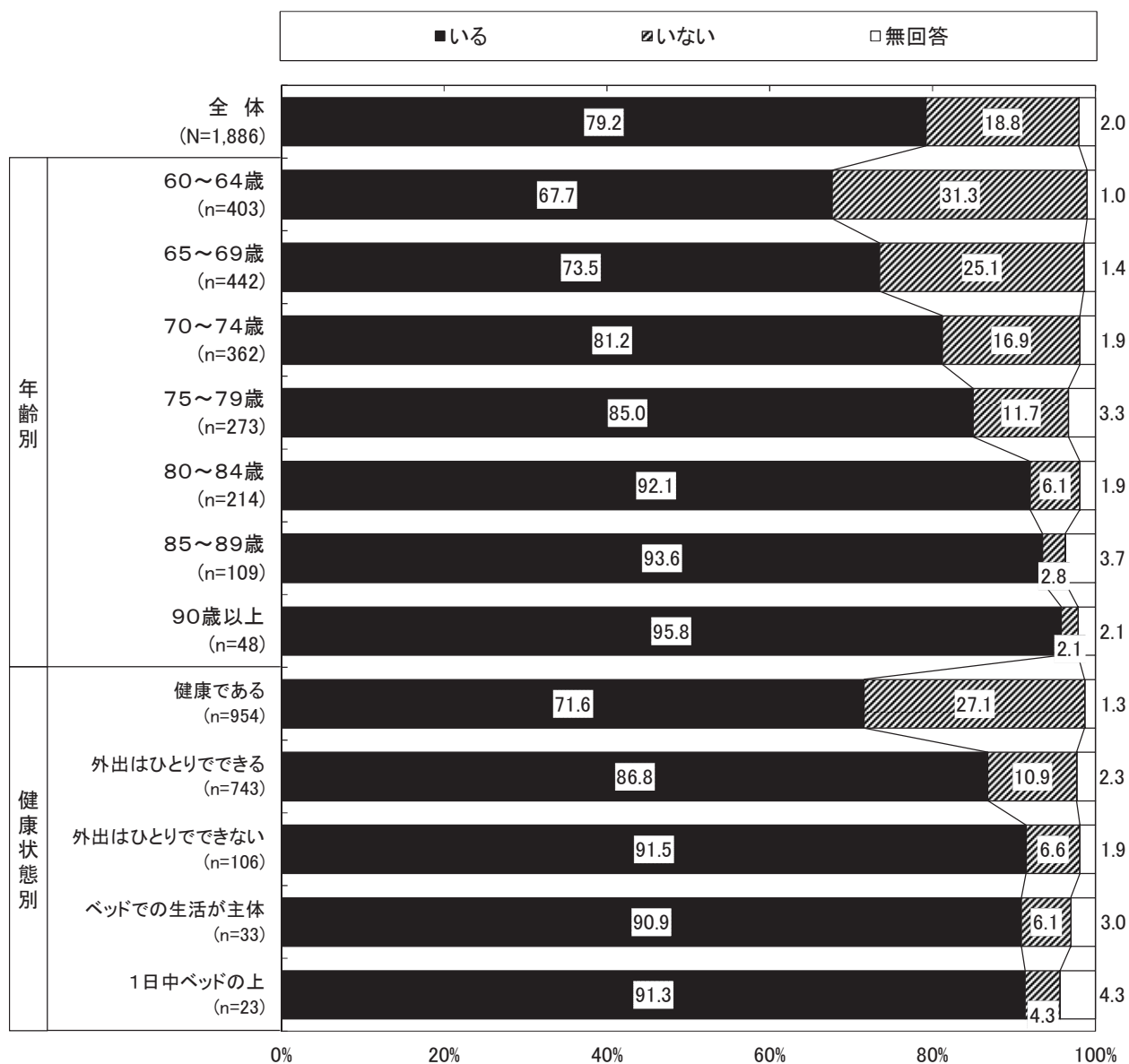
年齢別にみると、年齢が低くなるほど「相談したいことはない」の割合が高くなっており、60～64歳では 39.7%となっている。

4. 医療について

(1) かかりつけ医の有無

問 29 あなたには、普段から健康状態や病気のことで相談でき、体調が悪いときなどに治療を受けるかかりつけ医がいますか。(〇は1つ)

【かかりつけ医の有無×年齢別・健康状態別】



かかりつけ医の有無は、「いる」が79.2%、「いない」が18.8%となっている。

年齢別にみると、すべての年齢で「いる」の割合が6割を超えている。また、年齢が高くなるほど「いる」の割合は高くなっており、90歳以上では95.8%となっている。

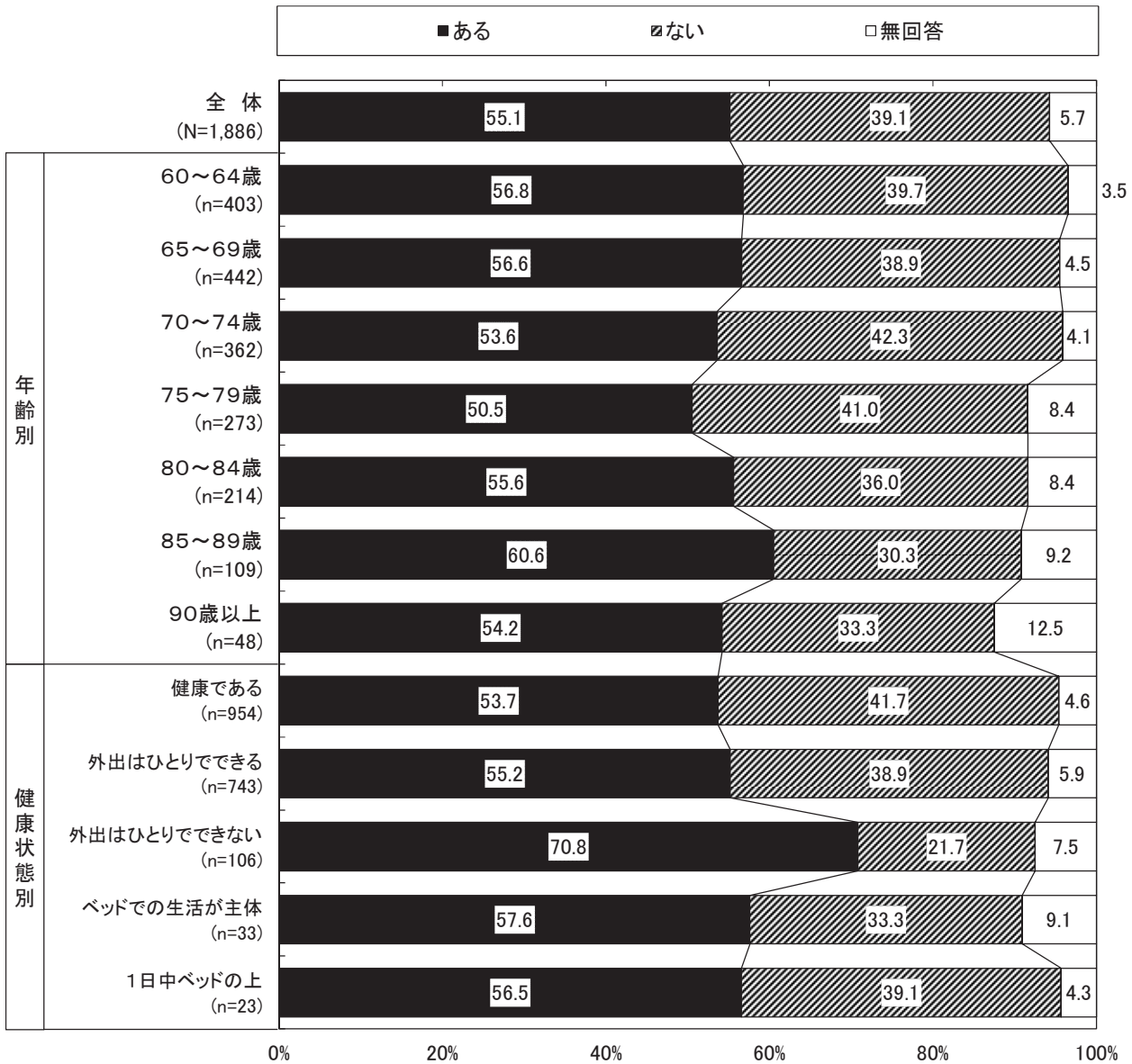
健康状態別にみると、健康である人では「いない」の割合が他と比べて高くなっている。しかし、どの健康状態でも「いる」の割合は7割を超えている。

(2) 在宅医療への関心

問 30 あなたは、在宅医療※に関心がありますか。(○は1つ)

※在宅医療とは、さまざまな病気をお持ちの方が、入院せずに自宅などで医師や看護師などの訪問による医療サービスを受けること。

【在宅医療への関心×年齢別・健康状態別】



在宅医療への関心は、「ある」が55.1%、「ない」が39.1%となっている。

年齢別にみると、すべての年齢で「ある」の割合が「ない」の割合を上回っている。

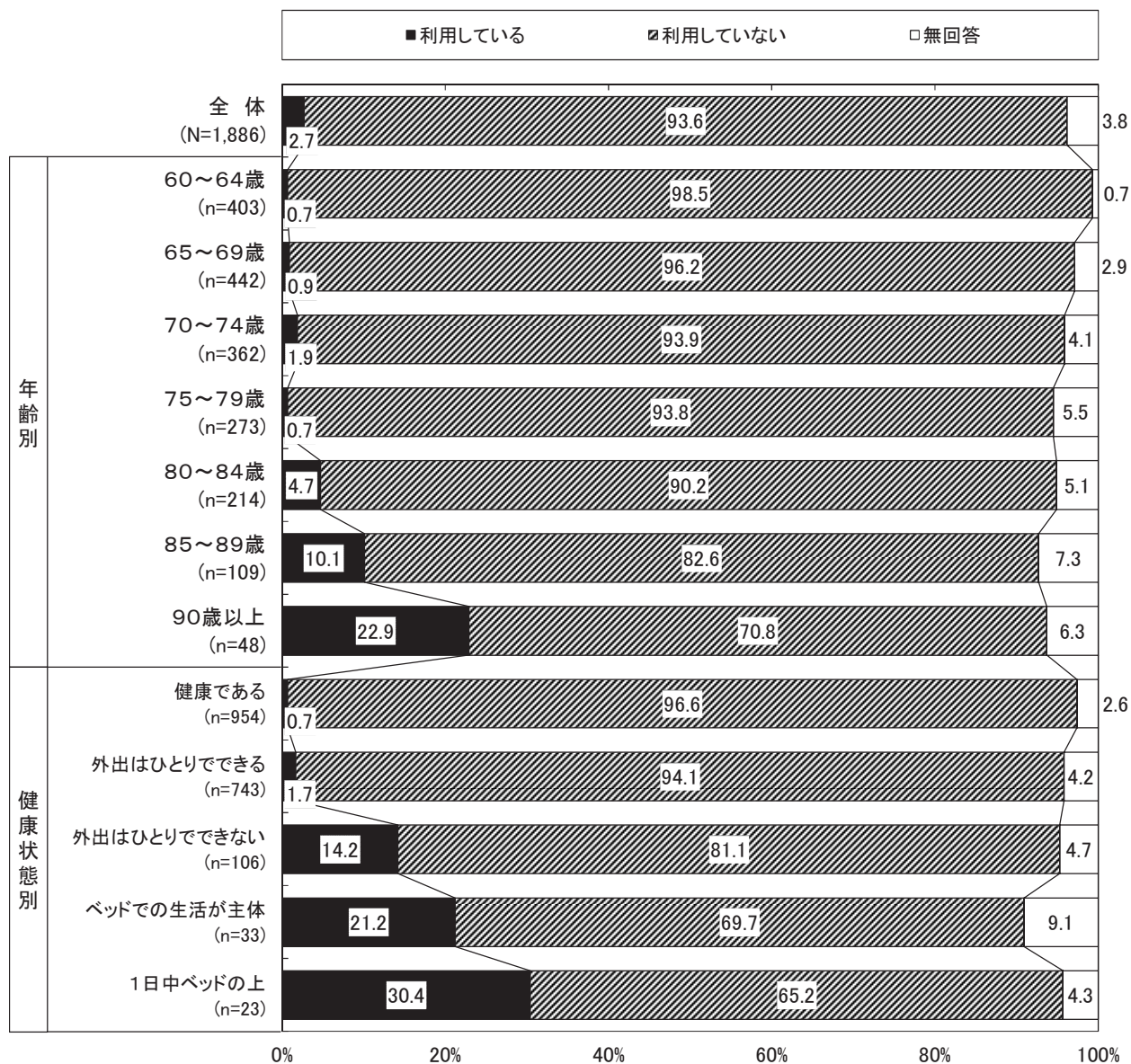
健康状態別にみると、外出はひとりできない人では「ある」の割合が他と比べて高くなっている。

(3) 訪問診療の利用の有無

問31 あなたは、現在、訪問診療※を利用していますか（○は1つ）

※訪問診療とは、かかりつけ医が在宅で療養している患者宅を定期的に訪問し、医療を提供すること。

【訪問診療の利用の有無×年齢別・健康状態別】



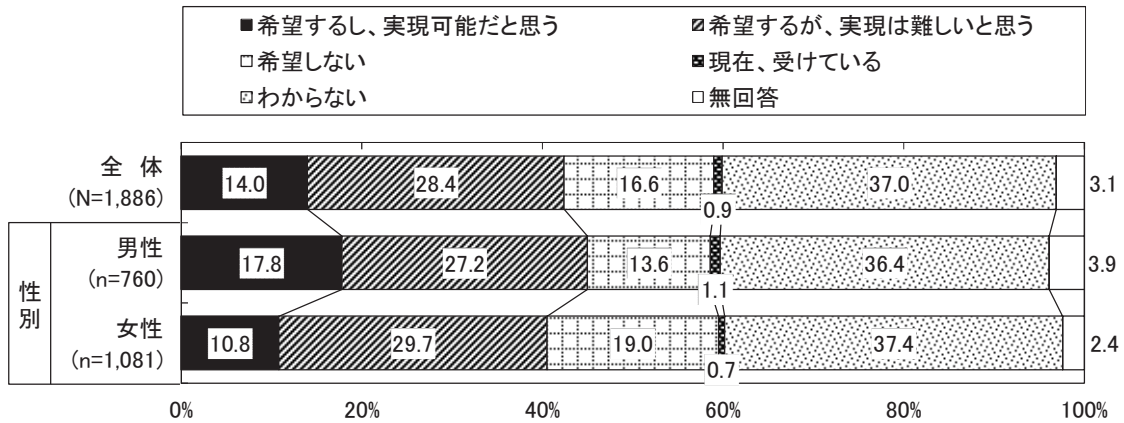
訪問診療の利用の有無は、「利用している」が2.7%、「利用していない」が93.6%となっている。年齢別にみると、85～89歳、90歳以上では「利用している」の割合が他と比べて高くなっている。健康状態別にみると、外出はひとりできない人、ベッドでの生活が主体の人、1日中ベッドの上の人では「利用している」の割合が他と比べて高くなっている。

(4) 在宅医療の希望

① 在宅医療の希望・実現可能性

問 32 あなたは、脳卒中の後遺症やがんなどで長期の治療が必要となった場合、在宅医療を希望しますか。また、実現可能と思いますか。(○は1つ)

【在宅医療の希望・実現可能性×性別】



在宅医療の希望は、「希望するし、実現可能だと思う」と「希望するが、実現は難しいと思う」を合わせた『希望する』が 42.4%、「希望しない」が 16.6%となっている。

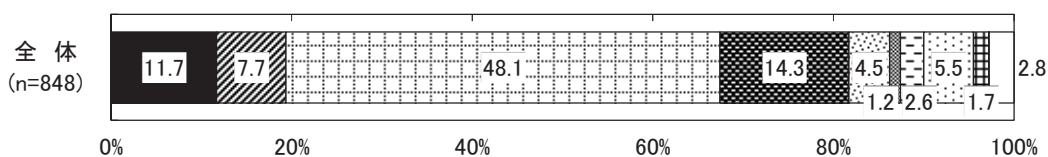
② 在宅医療を希望しない・実現が難しい理由

【問32で「2.」か「3.」と答えた方にうかがいます】

問32-1 在宅医療を希望しない又は実現が難しいと思う理由は何ですか。(〇は1つ)

【在宅医療を希望しない・実現が難しい理由】

- 往診などをしてくれる医師がいないから
- 家族に負担をかけるから
- 急に病状が変わったときの対応が不安だから
- 療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから
- その他
- 訪問看護や介護の体制が不十分だから
- 介護してくれる家族がいないから
- 医師や看護師の訪問が精神的負担になるから
- 経済的に負担が大きいから
- 無回答



在宅医療を希望しないまたは実現が難しいと思う理由は、「家族に負担をかけるから」が48.1%で最も高く、次いで「介護してくれる家族がいないから」が14.3%となっている。

【在宅医療を希望しない・実現が難しい理由×年齢別・世帯構成別】

		回答数	師往診などをしてくれる医師がいないから	訪問看護や介護の体制が不十分だから	家族に負担をかけるから	介護してくれる家族がいないから	急に病状が変わったときの対応が不安だから	医師や看護師の訪問が精神的負担になるから	療養できる部屋やトイレなどの住宅環境が整っていないから	経済的に負担が大きいから	その他	無回答
全体		848	99	65	408	121	38	10	22	47	14	24
		100.0	11.7	7.7	48.1	14.3	4.5	1.2	2.6	5.5	1.7	2.8
年齢別	60～64歳	180	7.2	9.4	57.2	10.6	3.9	-	3.3	7.2	0.6	0.6
	65～69歳	199	10.6	9.0	59.3	10.1	4.0	1.0	0.5	2.5	1.0	2.0
	70～74歳	159	13.8	5.0	46.5	12.6	3.1	1.3	4.4	7.5	1.9	3.8
	75～79歳	119	14.3	7.6	34.5	22.7	6.7	0.8	3.4	6.7	1.7	1.7
	80～84歳	96	12.5	5.2	34.4	21.9	5.2	3.1	4.2	5.2	3.1	5.2
	85～89歳	64	17.2	7.8	39.1	20.3	4.7	-	-	1.6	1.6	7.8
	90歳以上	17	11.8	11.8	41.2	-	11.8	5.9	-	11.8	-	5.9
世帯構成別	単身世帯	192	10.4	7.8	23.4	39.6	4.7	1.6	1.6	6.8	2.1	2.1
	夫婦のみ世帯	371	13.5	8.4	53.4	5.4	4.6	0.8	3.8	5.7	1.1	3.5
	二世帯同居世帯	173	10.4	6.4	60.7	5.2	5.2	1.2	2.3	3.5	2.9	2.3
	三世帯同居世帯	32	9.4	6.3	75.0	-	3.1	-	-	6.3	-	-
	その他	64	10.9	7.8	40.6	21.9	3.1	1.6	1.6	6.3	1.6	4.7

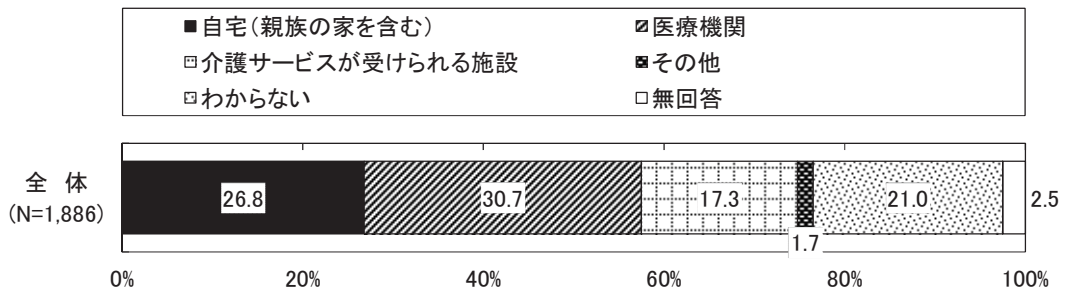
年齢別にみると、全ての年齢で「家族に負担をかけるから」の割合が高くなっている。

世帯構成別にみると、単身世帯では「介護してくれる家族がいないから」の割合、夫婦のみ世帯、二世帯同居世帯、三世帯同居世帯では「家族に負担をかけるから」の割合が最も高くなっている。

(5) 最期を迎えたい場所

問 33 万一、あなたが治る見込みがない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。
(○は1つ)

【最期を迎えたい場所】



最期を迎えたい場所は、「医療機関」が 30.7% で最も高く、次いで「自宅(親族の家を含む)」が 26.8%、「わからない」が 21.0% となっている。

【最期を迎えたい場所×性別・世帯構成別】

		(%)						
		回答数	自宅(親族の家を含む)	医療機関	介護サービスが受けられる施設	その他	わからない	無回答
全体		1,886	26.8	30.7	17.3	1.7	21.0	2.5
性別	男性	760	36.1	28.2	12.6	1.2	19.2	2.8
	女性	1,081	20.1	32.7	20.5	2.1	22.4	2.1
世帯構成別	単身世帯	394	15.0	29.9	22.6	2.8	26.9	2.8
	夫婦のみ世帯	792	28.7	32.3	15.7	1.4	19.9	2.0
	二世帯同居世帯	437	33.0	28.4	16.7	0.9	18.8	2.3
	三世帯同居世帯	65	33.8	38.5	9.2	-	16.9	1.5
	その他	153	28.1	26.8	17.6	3.9	19.6	3.9

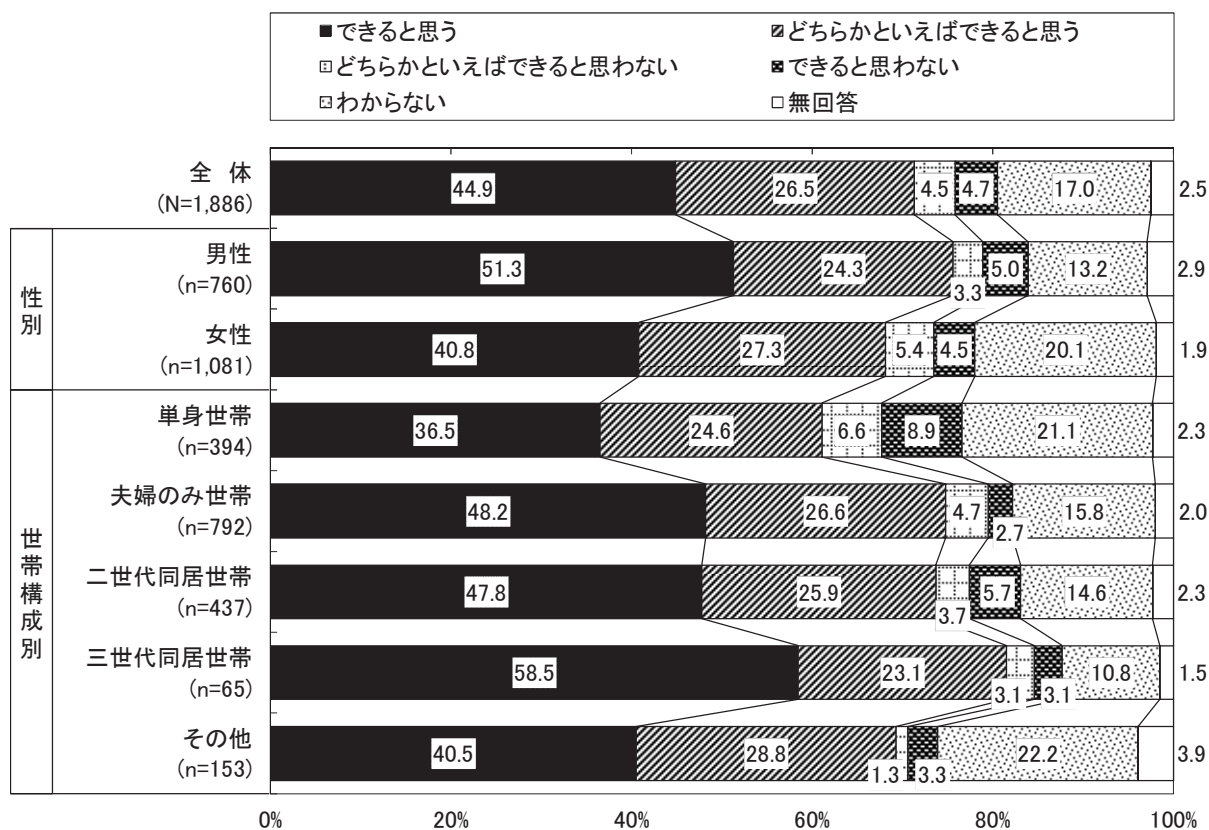
性別にみると、男性の方が女性より「自宅(親族の家を含む)」の割合が高くなっている。
世帯構成別にみると、単身世帯では「自宅(親族の家を含む)」の割合が低くなっている。

5. これからの介護について

(1) 住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか

問 34 あなたは、これから年齢を重ねても、住み慣れた地域で暮らし続けることができると思いますか。(〇は1つ)

【住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うか×性別・世帯構成別】



住み慣れた地域で暮らし続けることができると思うかどうかは、「できると思う」が44.9%、「どちらかといえばできると思う」が26.5%で、これらを合わせた『できると思う』が71.4%となっている。

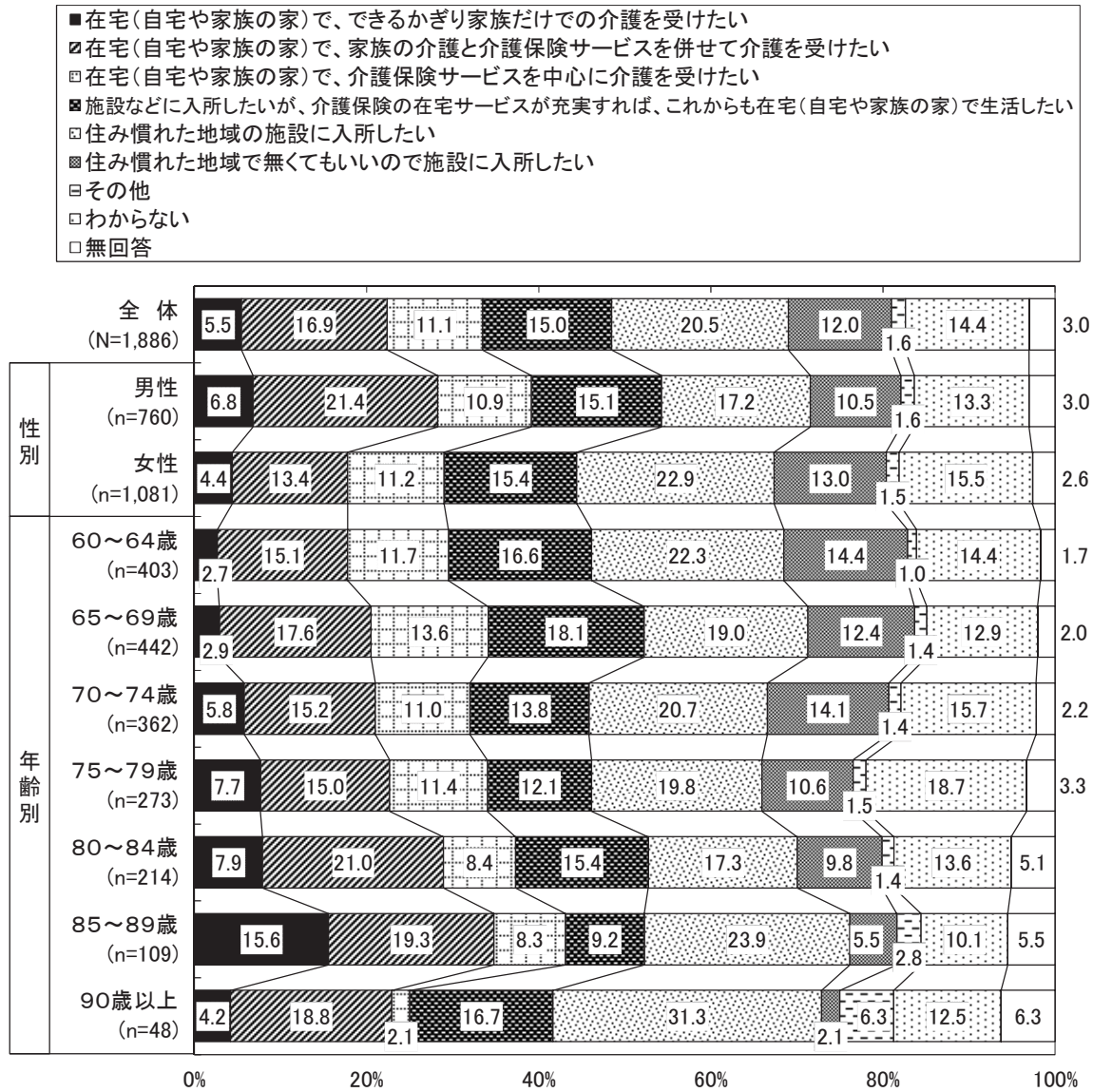
性別にみると、男性の方が女性より『できると思う』の割合が高くなっている。

世帯構成別にみると、単身世帯では『できると思う』の割合が他と比べて低くなっている。

(2) 今後の介護意向

問 35 あなたは、介護が必要になったとき、どのようにしたいと考えていますか。(〇は1つ)

【今後の介護意向×性別・年齢別】



介護が必要になったときは、「在宅(自宅や家族の家)で、できるかぎり家族だけでの介護を受けたい」、「在宅(自宅や家族の家)で、家族の介護と介護保険サービスを併せて介護を受けたい」、「在宅(自宅や家族の家)で、介護保険サービスを中心に介護を受けたい」、「施設などに入所したいが、介護保険の在宅サービスが充実すれば、これからも在宅(自宅や家族の家)で生活したい」を合わせた『在宅で生活したい』が48.5%となっている。

性別にみると、男性の方が『在宅で生活したい』の割合が高くなっている。

【今後の介護意向×性別・年齢別・世帯構成別・経年比較】

(%)

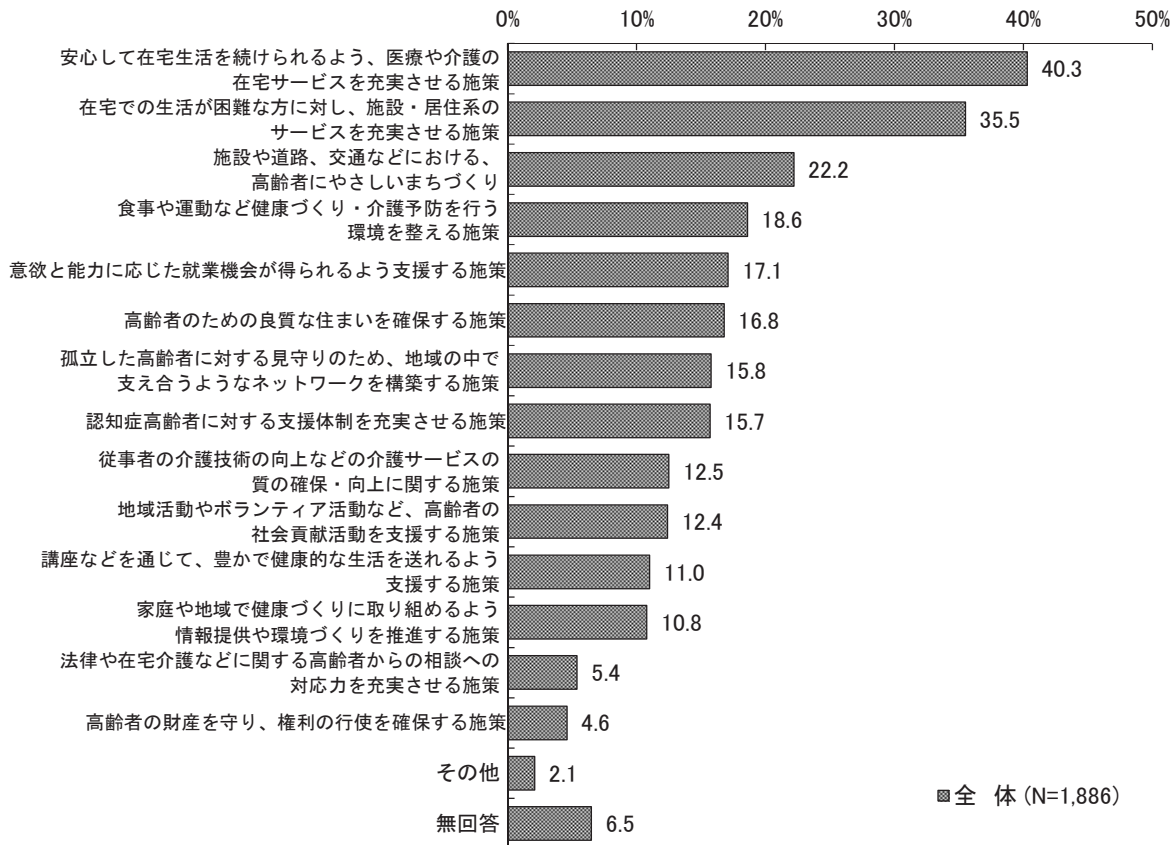
	回答数	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい	在宅（自宅や家族の家）で、介護を受けたい
全体	1,886	103	319	209	283	387	226	30	272	57		
	100.0	5.5	16.9	11.1	15.0	20.5	12.0	1.6	14.4	3.0		
性別												
男性	760	6.8	21.4	10.9	15.1	17.2	10.5	1.6	13.3	3.0		
女性	1,081	4.4	13.4	11.2	15.4	22.9	13.0	1.5	15.5	2.6		
年齢別												
60～64歳	403	2.7	15.1	11.7	16.6	22.3	14.4	1.0	14.4	1.7		
65～69歳	442	2.9	17.6	13.6	18.1	19.0	12.4	1.4	12.9	2.0		
70～74歳	362	5.8	15.2	11.0	13.8	20.7	14.1	1.4	15.7	2.2		
75～79歳	273	7.7	15.0	11.4	12.1	19.8	10.6	1.5	18.7	3.3		
80～84歳	214	7.9	21.0	8.4	15.4	17.3	9.8	1.4	13.6	5.1		
85～89歳	109	15.6	19.3	8.3	9.2	23.9	5.5	2.8	10.1	5.5		
90歳以上	48	4.2	18.8	2.1	16.7	31.3	2.1	6.3	12.5	6.3		
世帯構成別												
単身世帯	394	3.3	7.9	9.4	13.7	23.4	16.5	3.6	18.5	3.8		
夫婦のみ世帯	792	6.2	17.3	9.8	16.8	21.3	11.5	1.0	13.6	2.4		
二世帯同居世帯	437	6.2	22.0	13.3	14.2	16.9	10.8	0.9	12.8	3.0		
三世帯同居世帯	65	6.2	23.1	20.0	15.4	20.0	4.6	-	9.2	1.5		
その他	153	5.9	19.6	12.4	14.4	19.0	8.5	0.7	16.3	3.3		

世帯構成別にみると、単身世帯では「住み慣れた地域の施設に入所したい」と「住み慣れた地域でなくてもいいので施設に入所したい」を合わせた『施設に入所したい』の割合が39.9%と高く、単身世帯以外では『在宅で生活したい』の割合が5割を超えている。

(3) 行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策

問 36 高齢者に関する施策について、行政に対して今後どのようなことに特に力をいれてほしいと思いますか。(〇は3つまで)

【行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策】

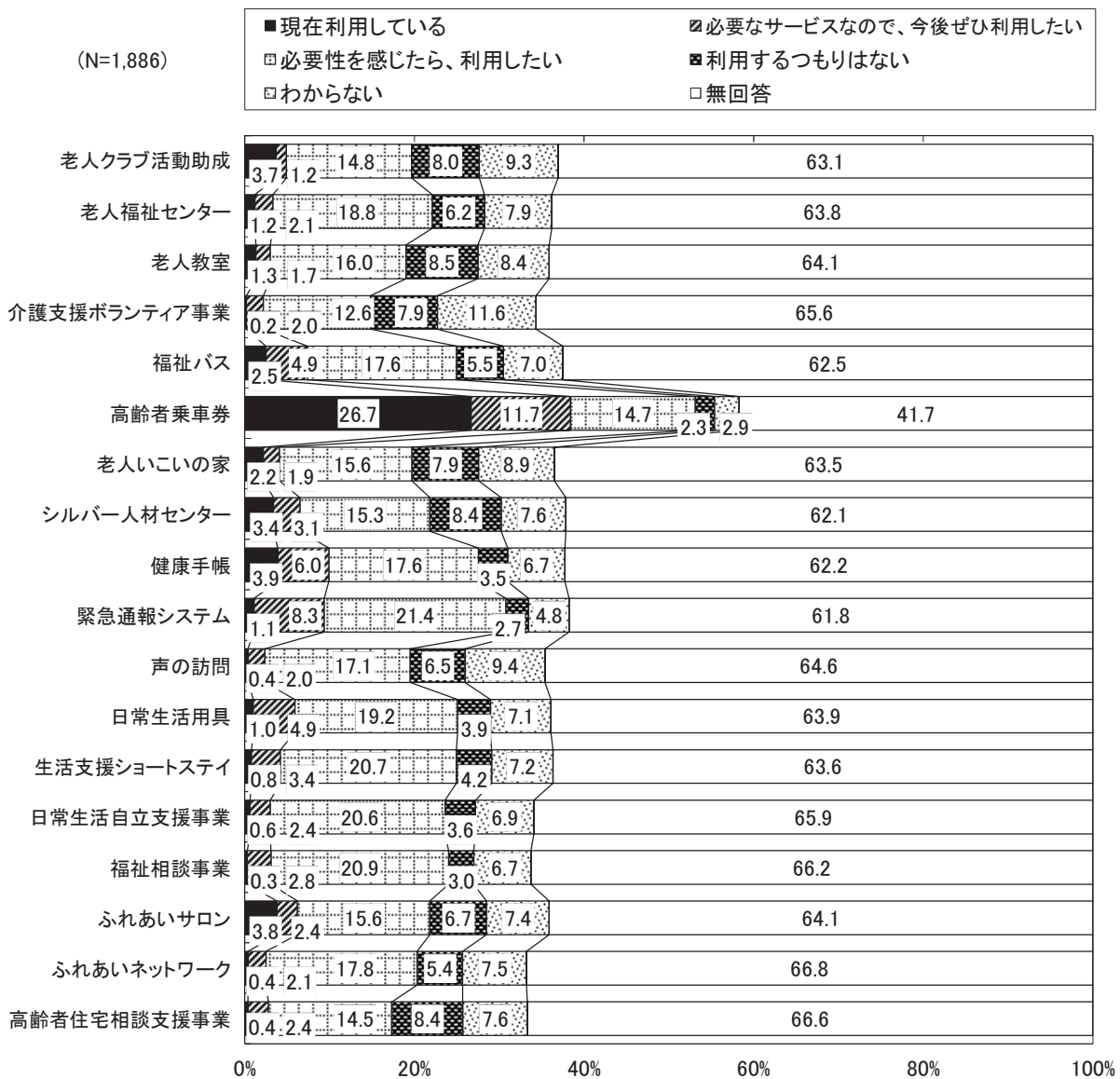


行政に力をいれてほしい高齢者に関する施策は、「安心して在宅生活を続けられるよう、医療や介護の在宅サービスを充実させる施策」が 40.3%で最も高く、次いで「在宅での生活が困難な方に対し、施設・居住系のサービスを充実させる施策」が 35.5%、「施設や道路、交通などにおける、高齢者にやさしいまちづくり」が 22.2%となっている。

(4) サービスの利用状況・利用意向

問 37 あなたは、以下のサービスを利用したことがありますか。また、現在利用していない場合は、今後利用したいと思いますか。(次のページの項目ごとに○は1つ)

【サービスの利用状況・利用意向】



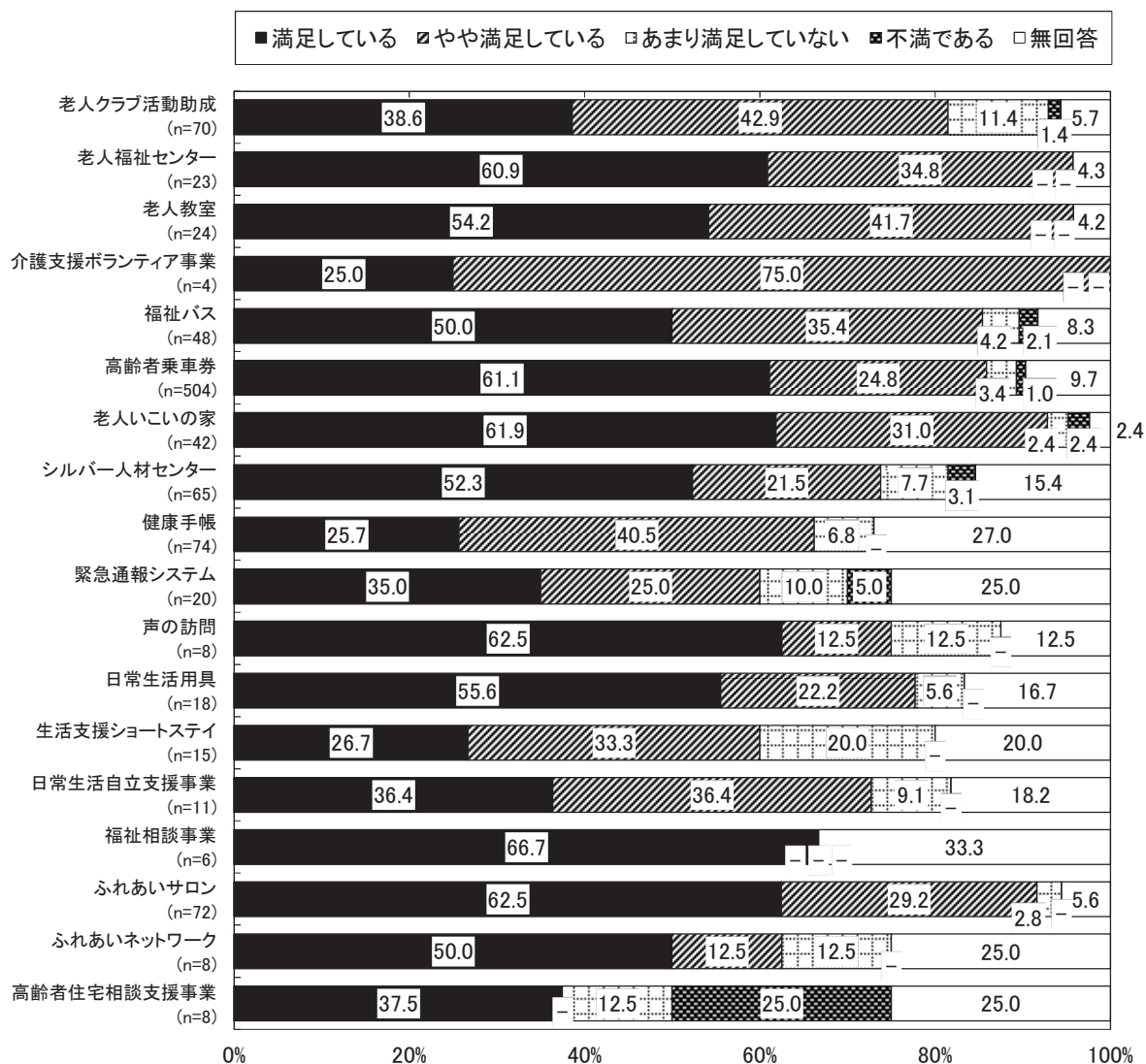
サービスの利用状況・利用意向をみると「現在利用している」の割合は「高齢者乗車券」が26.7%で最も高く、それ以外のサービスは1割に満たない。また、『利用したい』（「必要なサービスなので、今後ぜひ利用したい」と「必要性を感じたら、利用したい」の合計）の割合は「緊急通報システム」が29.7%で最も高く、次いで「高齢者乗車券」が26.4%、「日常生活用具」「生活支援ショートステイ」が24.1%となっている。

(5) サービスの満足度

1 サービスの満足度

問37 さらに、サービスを現在利用している場合は、それに対する満足度はいかがですか。
(次のページの項目ごとに〇は1つ)

【サービスの満足度】



サービスを利用している場合の満足度は、「高齢者住宅相談支援事業」を除くサービスについて、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』の割合が6割以上である。